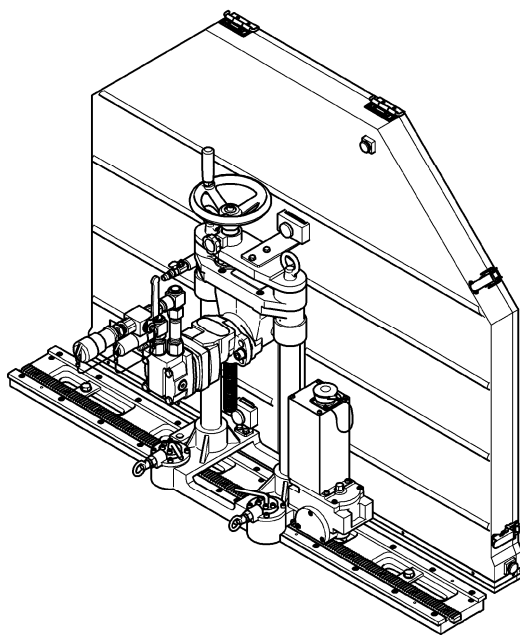




ダイヤモンドウォールカッター CHW-50A

取扱説明書



- ◎ このたびはお買い上げいただき、ありがとうございました。
- ◎ ご使用前に、この「取扱説明書」すべてをよくお読みのうえ、指示にしたがって正しく安全に使用してください。
- ◎ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

CONSEC CORPORATION

騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所などの周囲に迷惑をかけないように規制値以下で使用するため、状況に応じて遮音壁を設けてください。

注意文の「▲警告」・「⚠注意」・「ポイント」の意味について

ご使用上の注意事項は「▲警告」・「⚠注意」と「ポイント」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

▲警告 : 誤った取扱いをした時に、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをした時に、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

ポイント : 製品の据付け、使用方法、メンテナンスに関する重要な事項。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

本文中では、下表の通り正式名称を略称で記述しています。(ただし、説明上必要な箇所は正式名称で記述しています。)

正式名称	略称
ダイヤモンドウォールカッター	ウォールカッター
ダイヤモンドブレード	ブレード
ダイヤモンドチップ	チップ
フラットフェイス(FF)カプラー	FFカプラー

目次

1. 警告および注意	
【1】油圧機械の安全上のご注意	2
【2】ウォールカッターの使用上のご注意	4
2. 各部の名称	7
3. 仕様	8
4. 標準付属品	8
5. 用途	9
6. オプション品（別売）	9
7. 使用時全体図および仕様	
【1】CHW-50A 完成外観図	13
【2】CHW-50A 標準仕様図（E-2002A eco ⁺ ）	15
【3】油圧ユニットの違いによるブレードの最高回転速度[min^{-1}]	15
【4】二条切アタッチメント取付け（ブレード半カバー）仕様	16
【5】際切り用ブレード受け取付け仕様	17
【6】油圧ユニットの吐出量設定表：電源周波数50Hz地域	18
【7】油圧ユニットの吐出量設定表：電源周波数60Hz地域	18
8. 自動送り装置 BE-32A Pro（オプション品）のパネル面	19
9. 使用方法	
【1】油圧ユニット E-2002A eco ⁺ の準備	20
【2】トラックレール取付け用のアンカー施工	24
【3】ウォールカッターの取付け	25
【4】ブレードの取付け	26
【5】自動送り装置 BE-32A Proの接続	26
【6】トラックレールの連結	26
【7】ブレードカバーの取付け	28
【8】給水の準備	28
【9】飛散水の処理対策	28
【10】切断作業	29
【11】取りはずし作業	32
10. ウォールカッターの分離・組付け方法	
【1】ウォールカッターの分離方法	34
【2】ウォールカッターの組付け方法	34
11. フィード部の位置変更方法	35
12. ブレードの取付け・取りはずし	
【1】ブレードの取付け	35
【2】ブレードの取りはずし	35
13. 作業中のトラブルと対策	
【1】作業中のトラブルと対策方法	36
【2】ブレードがロックした場合の解決方法例	37
14. 油圧モータ組の取付け	38
15. 点検・保守・修理	
【1】作業前点検	38
【2】定期点検	38
【3】保守	39
【4】修理について	39
16. 製品の保管	39

1. 警告および注意

- ◎ ご使用前に、この「警告および注意」すべてをよくお読みのうえ、指示にしたがって正しく使用してください。
- ◎ 火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「油圧機械の安全上のご注意」「ウォールカッターの使用上のご注意」を必ず守ってください。
- ◎ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

【1】油圧機械の安全上のご注意

▲ 警 告

1. 指定された用途以外には使用しないでください。
2. 作業員以外は施工場所へ近づけないでください。
 - ◎ 作業員以外は油圧ユニット・油圧機器・操作盤・リモートコントロールスイッチやコード・ホースには、触れさせないでください。
3. 施工場所の周囲状況も考慮してください。
 - ◎ 油圧ユニット・操作盤・リモートコントロールスイッチなどの電気機器は、雨中・湿った場所・ぬれた場所では使用しないでください。
 - ◎ 施工場所は十分明るくしてください。
 - ◎ 施工場所が見える位置で操作をしてください。
 - ◎ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
 - ◎ ちらかった施工場所は、事故の原因となります。
4. 安全保護具を使用してください。
 - ◎ 作業時は、保護めがねを着用してください。
 - ◎ 滑り止めのついたゴム手袋と履物を着用してください。
 - ◎ 粉じんの多い作業では、防じんマスクを着用してください。
 - ◎ 耳せん、耳覆い(イヤーマフ)などの防音用保護具を着用してください。
5. 作業に適した服装をしてください。
 - ◎ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ◎ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
6. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ◎ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

▲ 警 告

7. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ◎ 各機器を使用する場合は、取扱方法・作業の仕方・周りの状況などしっかりと注意して慎重に作業してください。
 - ◎ 回転物には手や身体を近づけないでください。巻き込まれたり、けがをする恐れがあり危険です。
 - ◎ 可動部分や接続部分などに、手や足を挟まないように注意してください。
 - ◎ 疲れている場合は、使用しないでください。
8. 感電に注意してください。
 - ◎ 油圧ユニットは必ず接地(アース)してください。
 - ◎ 必ず労働安全規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電遮断装置の設置された電源を使用してください。
 - ◎ 漏電による感電事故を防止するために、作業中は必ずゴム手袋・ゴム長靴を着用してください。
9. コードやホースを乱暴に扱わないでください。
 - ◎ コードやホースを持って機器を運ばないでください。
 - ◎ コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
 - ◎ コードやホースを熱・油・角のところがった所に近づけないでください。
10. 指定の付属品やオプション品を使用してください。
 - ◎ 本取扱説明書およびコンセックカタログに記載されている付属品や、オプション品以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
11. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ◎ 使用前に、保護カバー・コード・ホースやその他の部品に損傷がないかしっかりと点検し、正常に作動し、所定の機能を発揮するか確認してください。
 - ◎ 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす、すべての箇所に異常がないか確認してください。
 - ◎ 損傷・故障した部品交換や修理は、取扱説明書の指示にしたがってください。
 - ◎ 取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所に修理を依頼してください。
 - ◎ スイッチで始動および停止操作のできない機器は、使用しないでください。
 - ◎ スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所で修理を行ってください。
12. 次の場合は油圧ユニットを停止してください。
 - ◎ 油圧ホース組の接続、取りはずしを行う場合。
 - ◎ 刃物などの付属品を交換する場合。
 - ◎ 修理する場合。
 - ◎ 使用中に油圧ユニットから異音が発した時。
 - ◎ その他危険が予想される場合。

▲ 警 告

13. 器具や工具などは、必ず取りはずしてください。
 - ◎ 電源を入れる前に、点検・調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
14. 各機器は注意深く手入れをしてください。
 - ◎ 注油や付属品の交換は、取扱説明書にしたがってください。
 - ◎ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
15. きちんと保管してください。
 - ◎ 乾燥した場所でお子様の手のとどかない安全な所または、錠のかかる所に保管してください。
16. 各機器の修理は専門店で依頼してください。
 - ◎ 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ◎ 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。
 - ◎ 修理は、必ずお買い求めの販売店または、コンセック各営業所にお申し付けください。

【2】ウォールカッターの使用上のご注意

▲ 警 告

1. 油圧ユニットは、当社オプション品の油圧ユニットを使用してください。
 - ◎ 油圧ユニットの取扱説明書をよくお読みのうえ、指示にしたがって安全にご使用ください。
2. 電線管・ガス管・水道管などの埋設物に注意してください。
 - ◎ 電気が流れている電線や電線管などに接触すると感電する恐れがあります。
 - ◎ 壁・床などの切断を行う場合は、埋設物のチェックをしっかりと行ってください。
3. 上向きの切断はしないでください。(乾式ウォールソーイングシステムを除く)
 - ◎ 湿式切断時は水を使用します。上向きの切断をすると、水がブレードカバー内部に溜まり、落下する恐れがあり、非常に危険です。
4. 水が飛散する場合は、飛散水防止対策を行ってください。
 - ◎ 切断作業中に、フィードモータに水が飛散する場合は、ただちに作業を中止して飛散水防止対策を行ってください。
5. 貫通側の安全面に注意してください。
 - ◎ ブレード貫通側は大変危険です。また、切削水が飛散することがありますので、人や物に当たらないように、防護対策や処理方法を確実にしてから、作業を始めてください。
6. 高所での作業は関係法令にしたがって作業してください。
 - ◎ 安全な足場を確保して、足場より1.5m以上での作業はしないでください。
 - ◎ 高所での作業の場合は、十分にスペースのあるしっかりとした足場を確保してください。
 - ◎ 高所での作業の場合は、施工場所の下に人を入れないようにしてください。

▲ 警 告

7. ゴム手袋・ゴム長靴は必ず着用してください。
8. トラックレールは、しっかりと固定してください。
 - ◎ 正しく固定することは非常に重要です。固定がきちんとは行われないと、切断中にガタつき、ブレードが損傷する恐れがあります。また、ブレードがかみこんで損傷する恐れがあります。
9. ウォールカッターの脱落に注意してください。
 - ◎ ウォールカッターの旋回レバーが閉方向に正しく固定されていないと、ウォールカッターのローラがトラックレールのプレートから外れ、ウォールカッターが脱落する恐れがあり大変危険です。
 - ◎ トラックレールの端面まで走行させるなど、ウォールカッターのフィードギヤとトラックレールのラックのかみあいはずれた場合は、ウォールカッターが落下または転倒する恐れがあり大変危険です。
10. ブレードカバーは必ず使用してください。
 - ◎ 水の飛散防止、ブレードの破損によるけがの防止および、巻き込まれ防止のためにも必ずブレードカバーは使用してください。
11. ブレードカバーをはずした状態で、ブレードを回転させないでください。
 - ◎ 回転中のブレードやブレード押さえには、手や身体を近づけないでください。巻き込まれたり、けがをする恐れがあり危険です。
12. 異常時には、ただちにブレードの回転を止めてください。
 - ◎ 使用中にブレードが止まったり、異音を発した時は、ただちに油圧ユニットのリモートコントロールスイッチの『停止』ボタンを押し、ブレードの回転を止めてください。
13. 壁・床面の切断コンクリート片の落下、倒れなどに注意してください。
 - ◎ 壁・床面への開口部新設工事では、切断されたコンクリート片の落下や倒れがないようチェーンブロックにて固定するなど、安全対策をしっかりと講じたうえで施工してください。
14. ボールバルブの開閉はゆっくりと行ってください。
 - ◎ ブレードの回転中にボールバルブを急に閉じると、反動でブレード押さえがゆるみ、ブレードがはずれる恐れがあり大変危険です。
15. 切断作業時以外は、油圧ユニットを停止させてください。
 - ◎ 油圧モータが不意に始動しないよう、切断作業時以外は、油圧ユニットを停止させてください。

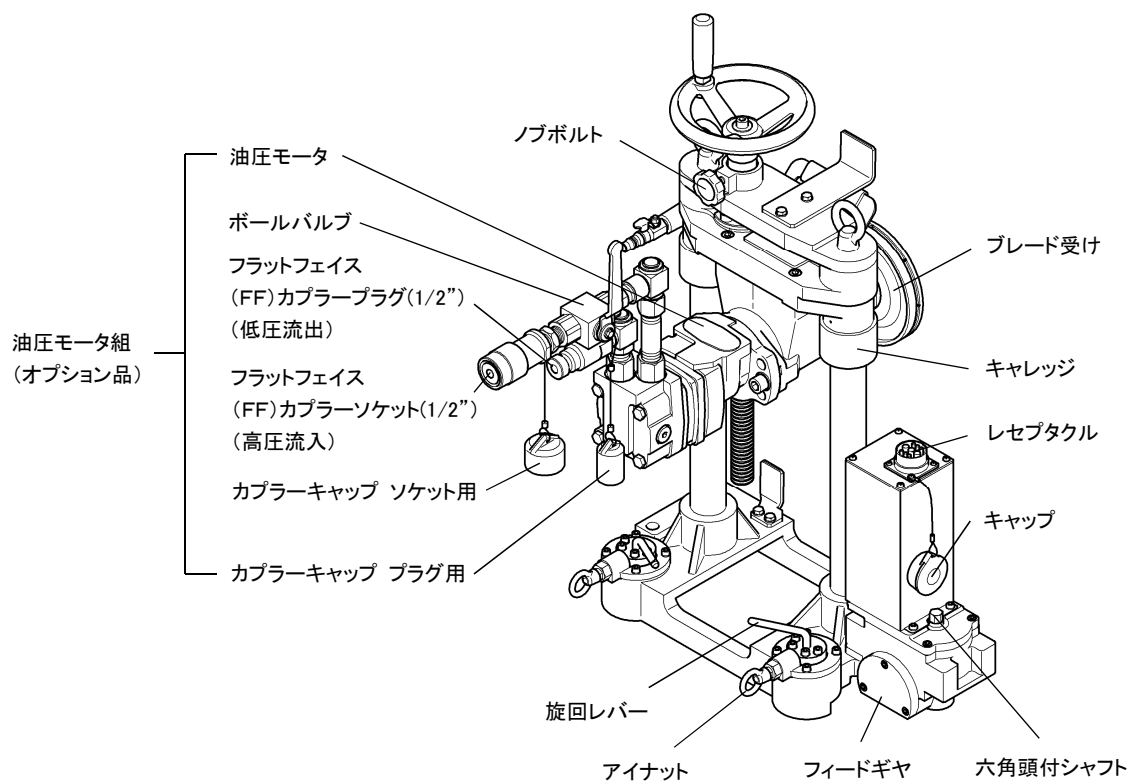
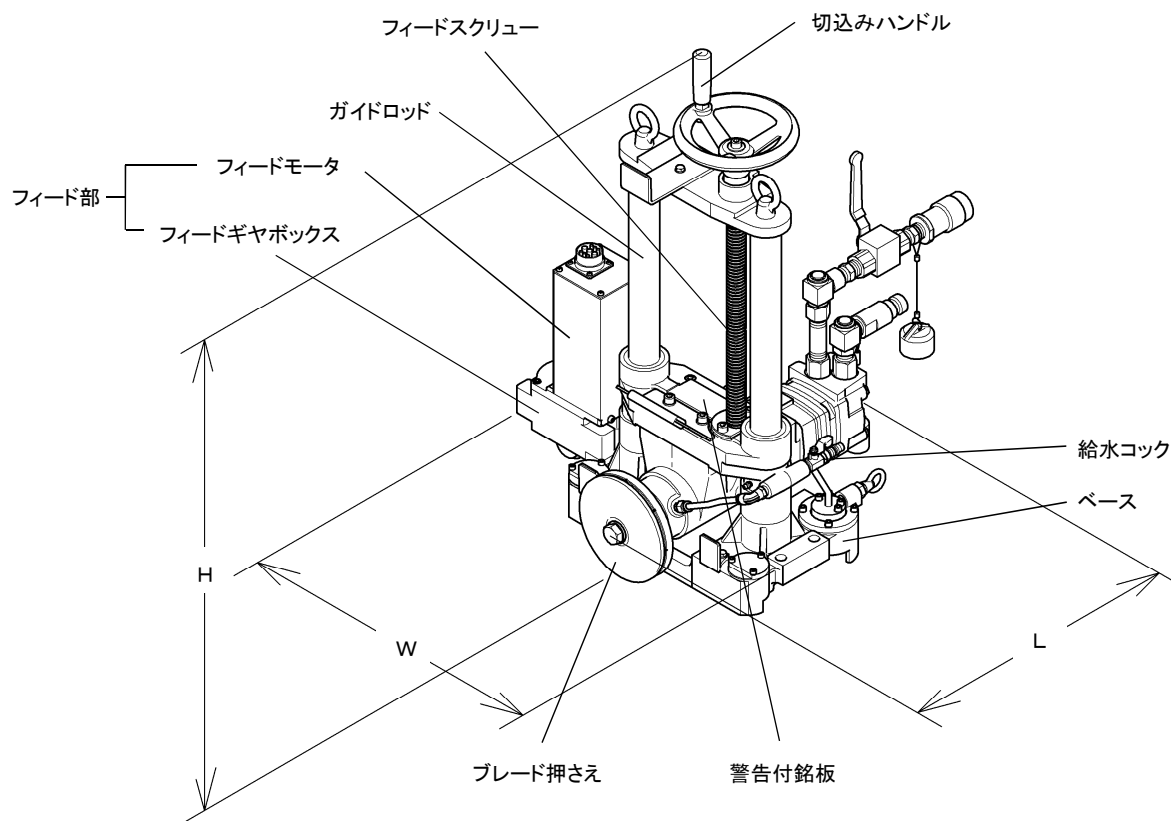
⚠ 注 意

1. 無理して使用しないでください。
 - ◎ 安全に能率よく作業するために、機器の能力に合った仕様で作業してください。
2. 施工場所へは、トラックレールを最初に設置した後、ウォールカッターをトラックレールに取付けてください。
 - ◎ 壁面を水平方向に切断する場合は、油圧モータが上側、ブレードが下側になるようにトラックレールを設置してください。

⚠ 注意

3. トラックレールのレベル調整をしてください。
 - ◎ 六角棒レンチ(5mm)を使って、トラックレールの六角穴付止ねじ(1200LAの場合 10箇所)を上下させてトラックレールが歪まないようレベル調整してください。またトラックレールを2本以上連結させる場合は、つなぎ目がずれたり離れたりしないように、レベル調整をしてください。
4. ダイヤモンドブレードを使用してください。
 - ◎ 本製品はダイヤモンドブレードを使うように設計されています。ダイヤモンドブレード以外の刃物は使わないでください。
5. 湿式切断時は必ず給水を行ってください。
 - ◎ ブレードは過熱すると、寿命が短くなり切断能率も低下しますので、必ず給水を行ってください。
 - ◎ 清水以外の水を使用すると、ウォールカッターなどの故障の原因となります。必ず清水を使用してください。
6. ブレードが切断面に接した状態で、ブレードを回転させないでください。
 - ◎ ブレードおよび、ウォールカッターの破損の恐れがあります。
7. 切断作業は回転が上がってから行ってください。
 - ◎ 切断作業は、ブレードの回転が完全に上がってから行ってください。
8. 無理な切込みはしないでください。
 - ◎ 一度の切込み深さを大きくしますと、機械への負担が大きくなるばかりでなく、切断速度も遅くなります。
9. 切断は、できるだけ順方向切断(アッパーカット)で行ってください。
 - ◎ 逆方向切断(ダウンカット)では、ブレードの回転により、ウォールカッターを送り方向に進めようとする力が働き、走行が安定せず、切断能率が低下することがあります。
10. 切断途中でブレードの回転を止めたり、ブレードをロックさせないでください。
 - ◎ ブレードの刃先および、ウォールカッターの破損の恐れがあります。
11. ウォールカッターに取付けたブレードを手でまわさないでください。
 - ◎ 油圧回路を遮断した状態でブレードまたは、ブレード受けを手でまわすと、油圧モータの故障の原因となります。

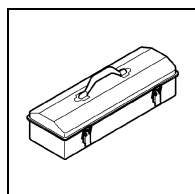
2. 各部の名称



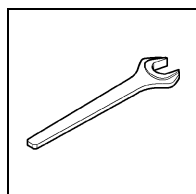
3. 仕様

型式名		CHW-50A		
油圧モータ型式名		2060-12A	HB05-16A	HB08-24A
押しのけ容量 [cc/rev]		64	89	127
定格回転速度 [min^{-1}]		850	898	746
最大流量 [L/min]		54	79	95
定格トルク [$\text{daN}\cdot\text{m}$]		19	24	34
定格圧力 [MPa]		21		
適用ブレード径	mm	782	1036	1240
	インチ	30	40	48
ブレード穴径 [mm]		35		
最大切込み深さ (新品ブレード取付時) [mm]	782mm(30")	311		
	1036mm(40")	—	438	
	1240mm(48")	—	—	540
定格送り速度 [mm/min]		632		
定格送り推力 [N]		1785		
質量 [kg]		28		
W [mm]		484		
L [mm]		410	434	440
H [mm]		741		
質量(油圧モータ組を含む) [kg]		40	41	

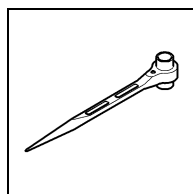
4. 標準付属品



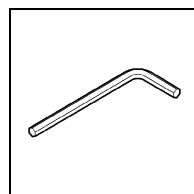
工具箱
Y-455
…1ヶ



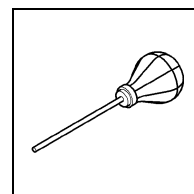
片口スパナ
24mm
…1ヶ



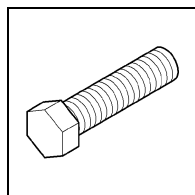
ラチェットレンチ
14×17mm
…1ヶ



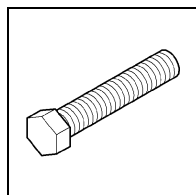
六角棒レンチ
5・6m
…各1ヶ



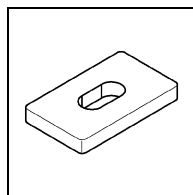
チリ吹き
…1ヶ



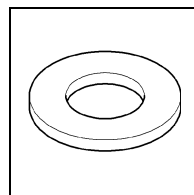
六角ボルト
W3/8×38mm
…8ヶ



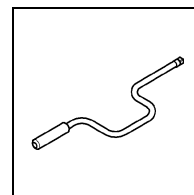
六角ボルト
W3/8×50mm
…8ヶ



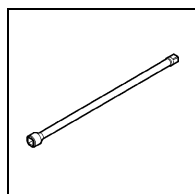
角座金
W3/8×50×30×t6
…8ヶ



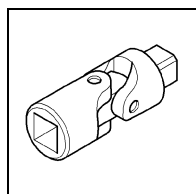
平座金
W3/8
…8ヶ



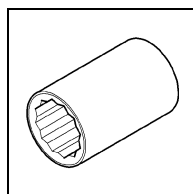
スピイダー
204
…1ヶ



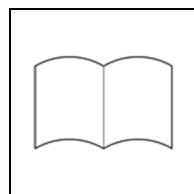
エクステンションバー
307
…1ヶ



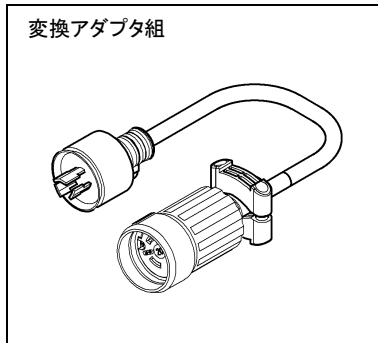
ユニバーサルジョイント
UJ30
…1ヶ



ソケット
3D-13
…1ヶ



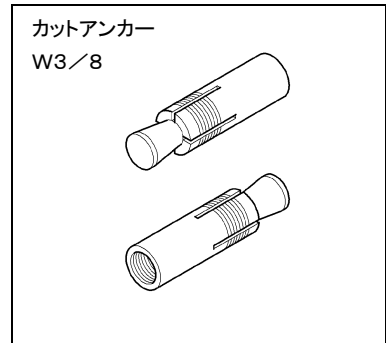
取扱説明書
…1ヶ



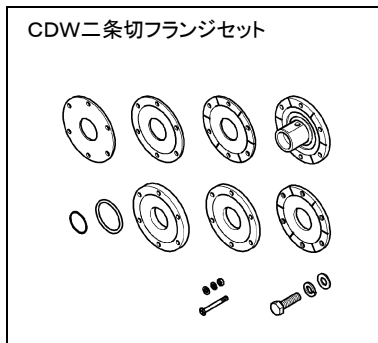
油圧ユニット E-2002A eco⁺から電源を取る時に使用する変換アダプタ組です。



カットアンカーを打込む時に使用します。

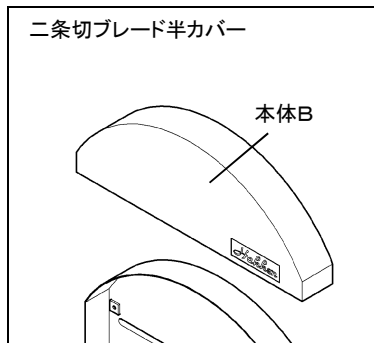


コンクリートなどに施工して、トラックレールを固定します。



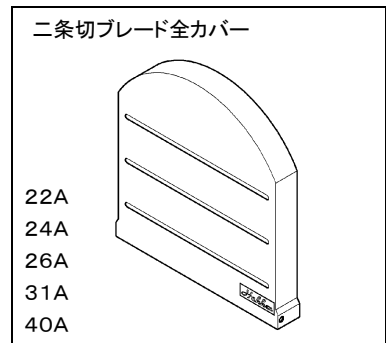
名称	規格・寸法	個数
ブレード受け	—	1
スペーサ	3mm黒	1
	5mm	2
	5mm溝	2
	7.5mm溝	1
	10mm	1
Oリング	15mm	1
	P-65	1
六角ボルト(11T)	S-46	1
六角ボルト	M16×55	1
ばね座金	16	1
平座金	16	1
皿ボルト	M8×70	6
ばね座金	8	6
平座金	8	6
六角ナット	M8	6
取扱説明書	—	1

二条切りや、壁際切断の時、標準のブレード受けを組替えて使用します。

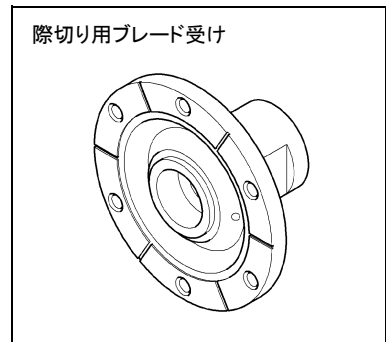


24A
26A
31A
40A

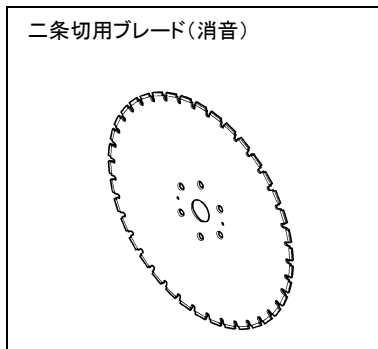
二条切りや、壁際切断の時に使用します。サイズは、24", 26", 31", 40"があります。



二条切りの時に使用します。サイズは、22", 24", 26", 31", 40"があります。



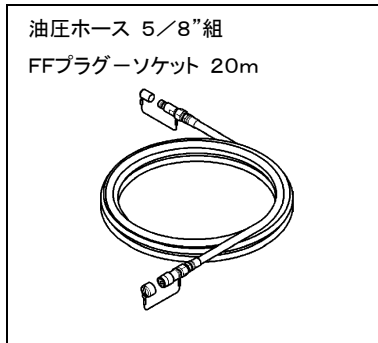
際切り切断の時に、使用します。



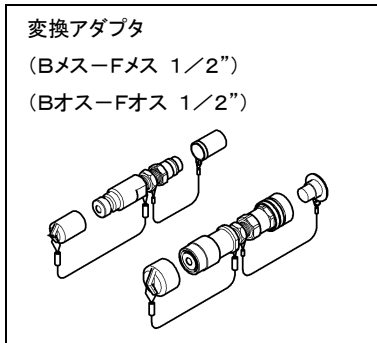
二条切用で消音タイプのブレードです。

二条切用ブレード(消音)			
呼径	外径[mm] (注2)	チップ寸法[mm]	軸径[mm]
22"	578	W4.5×H10.0	50.8
24"	630		
26"	680		
30"	782		

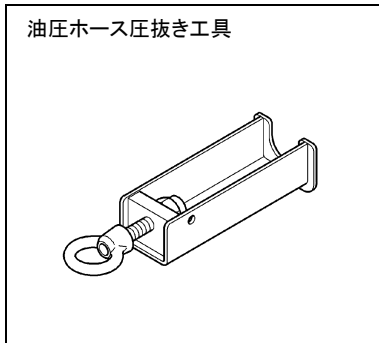
(注2) 外径は、ダイヤモンドチップ先端の外径です。



油圧ユニット E-2002A eco⁺・E-1114A の延長用油圧ホースです。2本必要です。(油圧作動油は入っていません。)

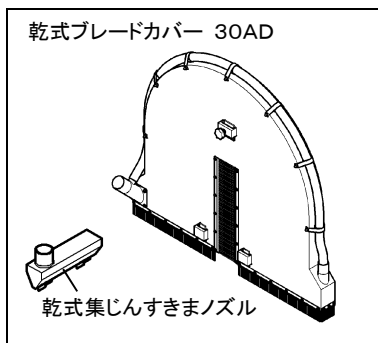


BSカップラー(ブリヂストン製)とFFカップラー(日東工器製)の変換に使用します。

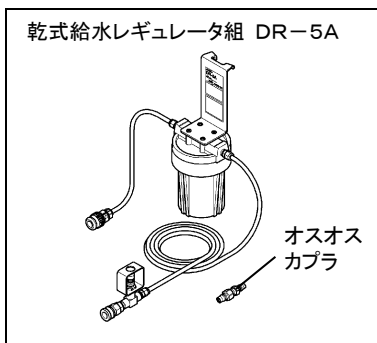


内圧の上ったホース組のカプラーを開き、圧力を抜きます。FFカップラー(日東工器製)1/2"専用です。

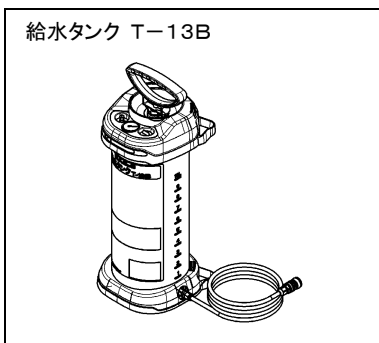
◎ 乾式ウォールソーイングシステム専用オプション品です。
使用方法は「乾式ウォールソーイングシステム」の取扱説明書をお読みください。



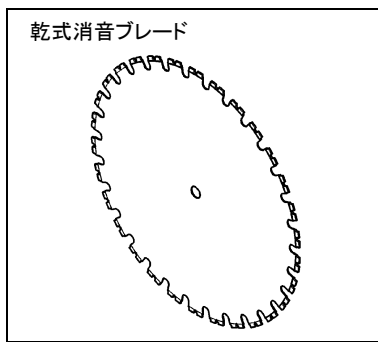
乾式ウォールソーイングシステム専用で、サイズは30"用です。
(付属の乾式集じんすきまノズルは縦方向の切断などの時に、切断溝に差し込んで使用します。)



給水タンクT-13Bに取付けて、水のろ過および水量調整に使用します。



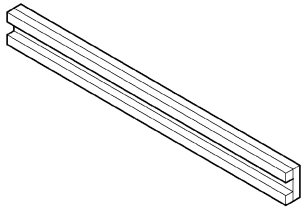
タンク容量は13リットルで、給水量は10リットルです。



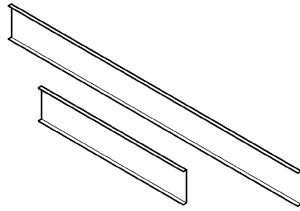
乾式ウォールソーイングシステム専用のブレードです。

乾式消音ブレード			
呼径	チップ先端外径[mm]	チップ寸法[mm]	穴径[mm]
18"	467	W4.5×H12.0	35
22"	569	W4.5×H12.0	
26"	673	W4.5×H12.0	
30"	782	W4.5×H12.0	

ワイヤーガード



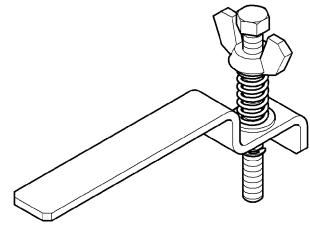
スポンジ 1000



平面用押え板 500・1000

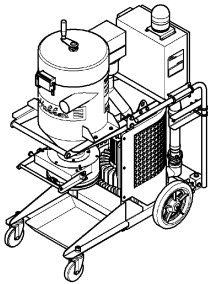
スポンジと押え板を併せて使用します。

ワイヤーガード押さえ金具



ワイヤーガードをワンタッチで固定することができます。

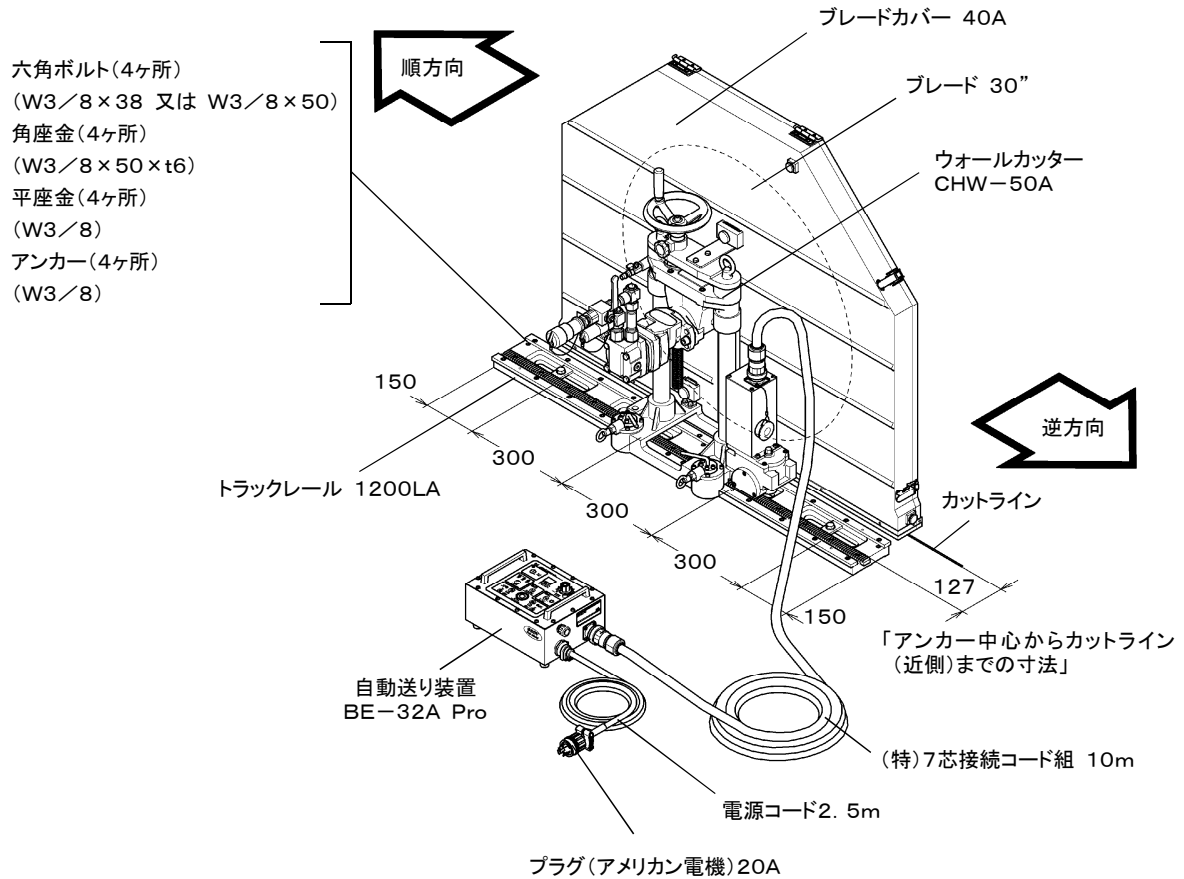
集じん機

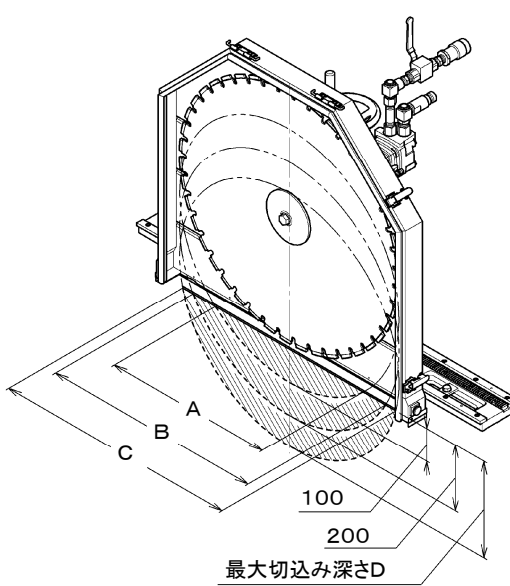


切断時の切り粉を外に漏らさず集じんします。また、乾式専用と乾湿両用の2種類の集じん機があります。

7. 使用時全体図および仕様

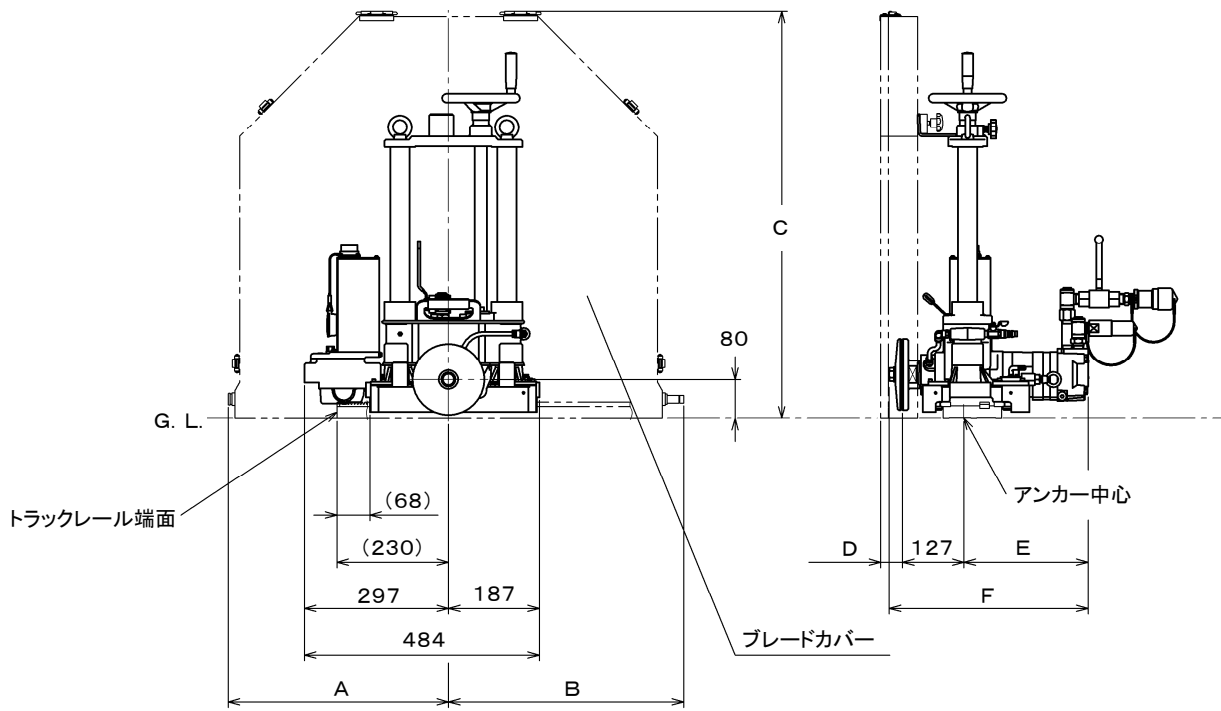
【1】CHW-50A 完成外観図





ブレード径の違いによる切込み深さと切断幅の関係

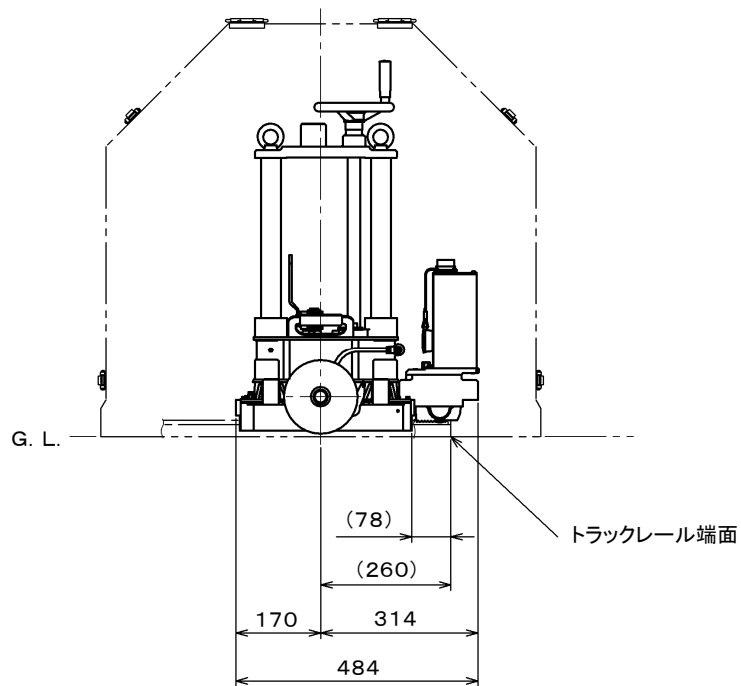
ブレード		切断幅[mm]		
呼径	外径[mm]	A	B	C (最大切込み深さD)
22"	578	437	—	549 (D=199)
24"	630	460	587	604 (D=225)
26"	680	482	620	656 (D=250)
30"	782	522	682	761 (D=301)
40"	1036	612	818	1020 (D=428)
48"	1240	675	912	1227 (D=530)



標準仕様

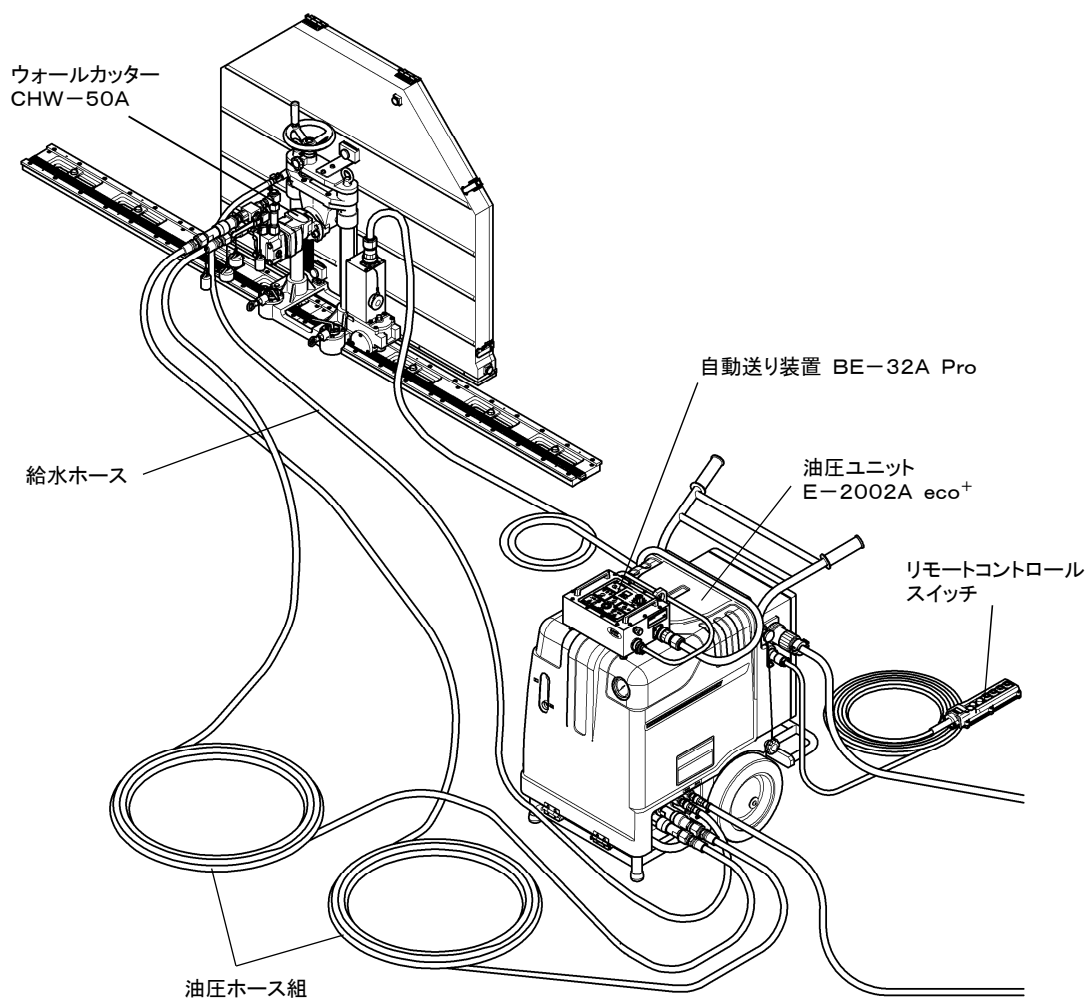
ブレードカバー 型式名	A	B	C	D
30A	454	484	837	45
40A	580	610	963	45
48A	671	701	1075	62

油圧モータ組 型式名	E	F
2060-12A	256	410
HB05-16A	280	434
HB08-24A	286	440



フィード部の位置を変更した場合

【2】 CHW-50A 標準仕様図 (E-2002A eco⁺)

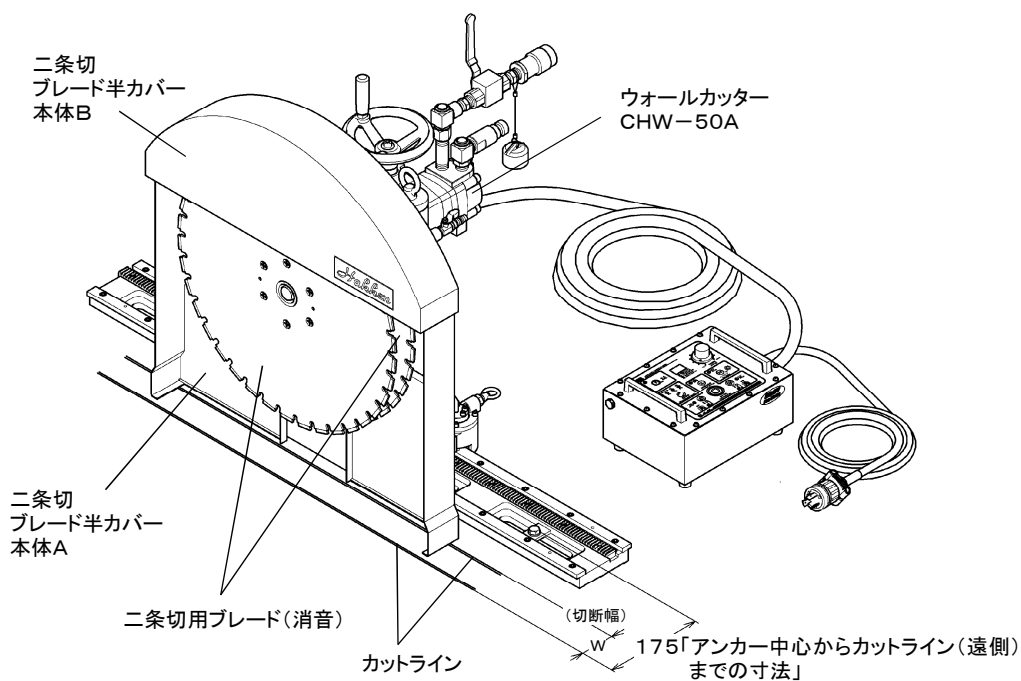


【3】 油圧ユニットの違いによるブレードの最高回転速度 [min^{-1}]

油圧ユニット 型式名	油圧モータ組型式名 (最高回転速度)			
	電源周波数	2060-12A (850 min^{-1})	HB05-16A (898 min^{-1})	HB08-24A (746 min^{-1})
E-1524A	50Hz	673	484	339
E-1124A	60Hz	808	581	407
E-2002A eco ⁺	50Hz	748	538	377
E-2002A	60Hz	900 ^(注1)	647	454
E-1114A	50Hz	659	474	332
E-1104A	60Hz	792	570	399
E-1812A	50Hz	739	531	372
E-1802A	60Hz	884 ^(注1)	636	446
G-2800A	—	781	562	394
E-1100R	50Hz	638	458	321
E-1100	60Hz	766	551	386

(注1) 油圧モータの最高回転速度を超える可能性がある組み合わせです。本書18ページの【7】油圧ユニットの吐出量設定表にならない油圧ユニットの吐出量を調整し、油圧モータの最高回転速度を超えないようにしてください。

【4】二条切アタッチメント取付け(ブレード半カバー)仕様



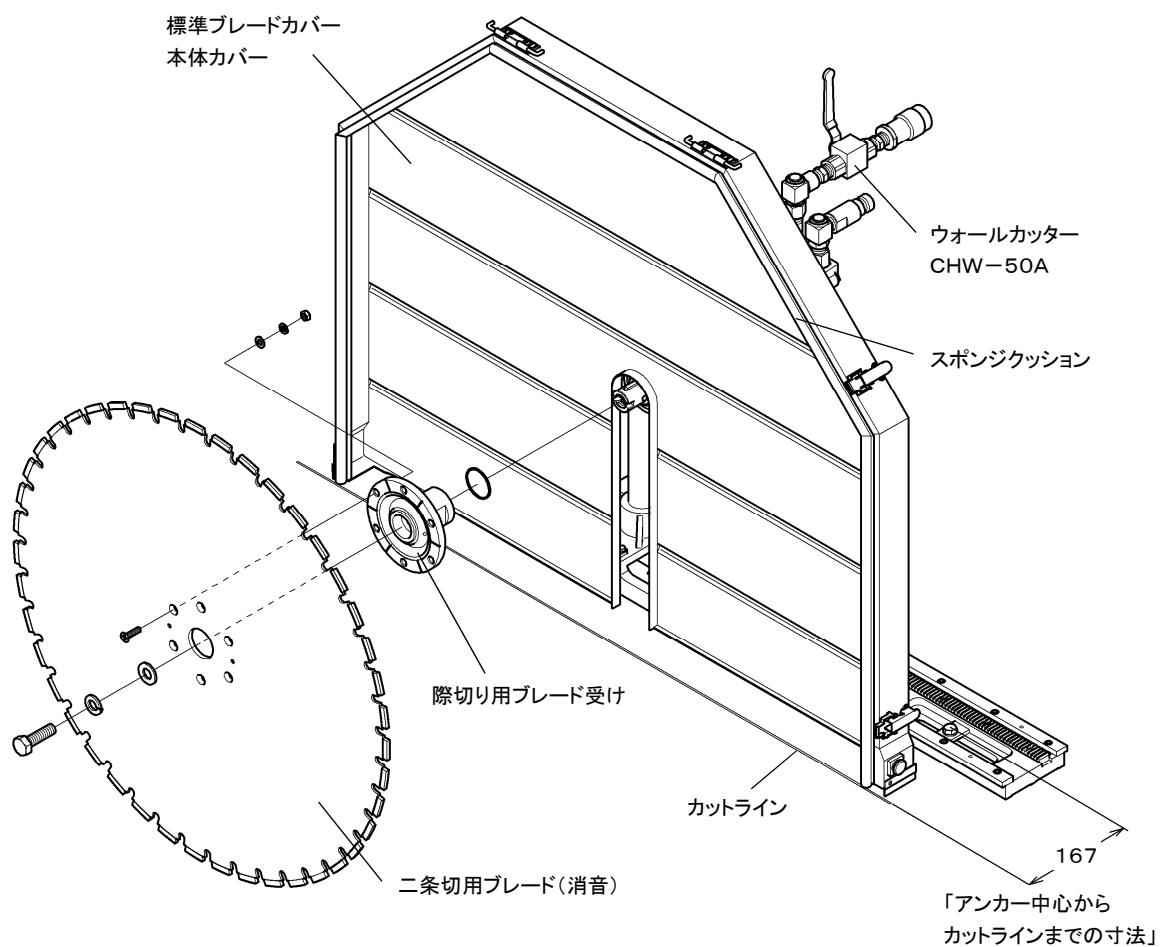
切断幅とスペーサ取付け順序の関係

切断幅 W	取付順序								
	Oリング	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
50mm	無	ブレード	5mm溝	5mm	10mm	15mm	—	7.5mm溝	ブレード
45mm	有	5mm溝	ブレード	5mm溝	10mm	15mm	—		
40mm		5mm	5mm溝	ブレード	5mm溝	5mm	15mm		
35mm		10mm	5mm溝	ブレード	5mm溝	15mm	—		
30mm		15mm	5mm溝	ブレード	5mm溝	10mm	—		
25mm		5mm	15mm	5mm溝	ブレード	5mm溝	5mm		
20mm		10mm	15mm	5mm溝	ブレード	5mm溝	—		
1枚切断		3mm黒	5mm	5mm	10mm	15mm	—		

⚠ 注意

1. 切断面に注水するため、5mm溝および7.5mm溝のブレードに接するスペーサは、溝のある面をブレードに接触するように取付けてください。
2. ブレード受けの取付けに、ラチェットレンチ24mmが必要です。

【5】 際切り用ブレード受け取付け仕様



⚠ 警告

1. 本体カバーのみでの切断は、片面が開いた状態なので非常に危険です。壁際などの際切り以外には使用しないでください。
2. 切削水の飛散防止、回転中のブレードの破損によるけがの防止および、巻き込まれ防止のため、ブレードカバー本体のスポンジクッションは壁面などに密着させ、周囲に危険が及ばないように、防護板を設置するなどの対策を行ってください。

⚠ 注意

際切り用ブレード受けの取付けに、ラチェットレンチ24mmが必要です。

【6】油圧ユニットの吐出量設定表：電源周波数50Hz地域

油圧ユニット	油圧モータ組 型式名	ブレード径とブレード周速度別、油圧ユニットの吐出量設定値							
		26"		30"		40"		48"	
		1200 [m/min]	1500 [m/min]	1200 [m/min]	1500 [m/min]	1200 [m/min]	1500 [m/min]	1200 [m/min]	1500 [m/min]
E-2002A eco ⁺ E-2002A	2060-12A	3	3/4	4	2 1/4	6	4 1/2	—	5 3/4
	HB05-16A	—	—	1	—	3 3/4	1 3/4	5	3 1/4
	HB08-24A	—	—	—	—	1/4	—	2 1/4	—
E-1524A E-1124A	2060-12A	1 1/2	—	2 1/2	3/4	最大	2 3/4	—	3 3/4
	HB05-16A	—	—	—	—	2	1/2	3 3/4	1 3/4
	HB08-24A	—	—	—	—	—	—	3/4	—
E-1812A E-1802A	2060-12A	2 3/4	1/2	3 3/4	2	最大	4 1/4	—	5 1/2
	HB05-16A	—	—	1	—	3 1/2	1 1/2	4 3/4	3 1/4
	HB08-24A	—	—	—	—	0	—	2	—
E-1114A E-1104A	2060-12A	0/7	—	5/5	0/8	0/3	9/4	—	3/3
	HB05-16A	—	—	—	—	0/6	6/8	2/4	4/6
	HB08-24A	—	—	—	—	—	—	0/8	—
E-1100R E-1100	2060-12A	1 3/4	—	3 1/2	1/2	6 1/4	4	7 1/2	5 3/4
	HB05-16A	—	—	—	—	2 3/4	0	4 3/4	2 1/4
	HB08-24A	—	—	—	—	—	—	1/2	—

注)油圧ユニットの吐出量設定方法については、油圧ユニットの取扱説明書を参照ください。

注)一の組み合わせは、周速度条件を満たさない組み合わせです。

注)この油圧ユニットの吐出量設定表はあくまでも目安です。被削物によって条件が変わりますので、その場合は吐出量を変更してください。

【7】油圧ユニットの吐出量設定表：電源周波数60Hz地域

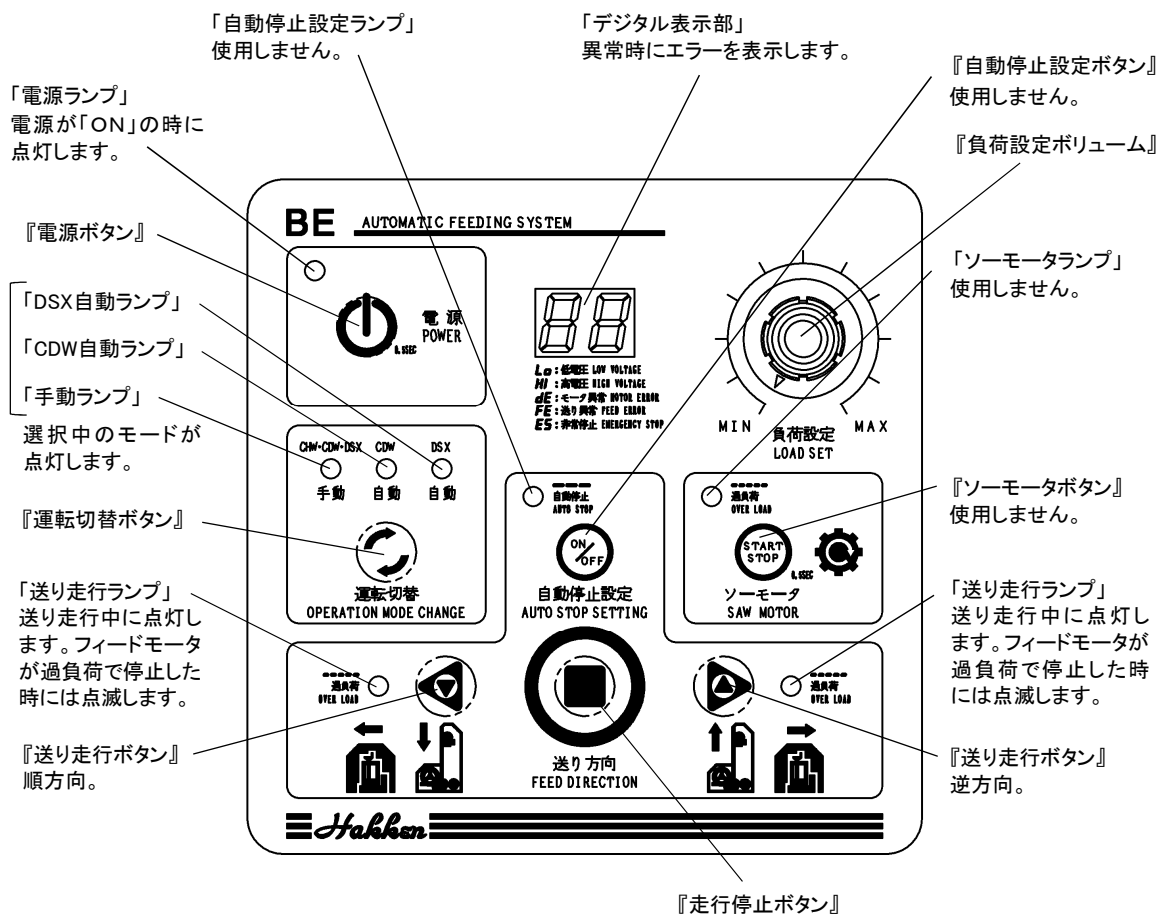
油圧ユニット	油圧モータ組 型式名	ブレード径とブレード周速度別、油圧ユニットの吐出量設定値							
		26"		30"		40"		48"	
		1200 [m/min]	1500 [m/min]	1200 [m/min]	1500 [m/min]	1200 [m/min]	1500 [m/min]	1200 [m/min]	1500 [m/min]
E-2002A eco ⁺ E-2002A	2060-12A	4 1/2	2 1/2	5 1/4	3 1/4	—	5 3/4	—	—
	HB05-16A	1 1/2	—	2 3/4	3/4	5	3 1/4	—	4 3/4
	HB08-24A	—	—	—	—	2 3/4	—	3 3/4	1 3/4
E-1524A E-1124A	2060-12A	2 3/4	1 1/4	3 1/2	2 1/4	—	3 3/4	—	—
	HB05-16A	1/4	—	1/2	—	3 1/4	1 3/4	—	3
	HB08-24A	—	—	—	—	1	—	2 1/4	3/4
E-1812A E-1802A	2060-12A	4 1/4	2 1/4	5	3 1/2	—	5 1/2	—	—
	HB05-16A	1 1/4	—	2 3/4	1/2	4 3/4	3 1/4	—	4 1/2
	HB08-24A	—	—	—	—	2	—	3 1/2	1 1/2
E-1114A E-1104A	2060-12A	0/5	4/7	8/3	9/5	—	3/3	—	—
	HB05-16A	8/8	—	1/7	—	2/4	4/6	—	6/4
	HB08-24A	—	—	—	—	0/8	—	9/5	5/8
E-1100R E-1100	2060-12A	4	1 1/4	5 1/4	3	7 3/4	6	8 3/4	7 1/4
	HB05-16A	—	—	1 1/2	—	5	2 1/2	6 1/2	4 1/2
	HB08-24A	—	—	—	—	3/4	—	3	0

注)油圧ユニットの吐出量設定方法については、油圧ユニットの取扱説明書を参照ください。

注)一の組み合わせは、周速度条件を満たさない組み合わせです。

注)この油圧ユニットの吐出量設定表はあくまでも目安です。被削物によって条件が変わりますので、その場合は吐出量を変更してください。

8. 自動送り装置 BE-32A Pro(オプション品)のパネル面



9. 使用方法

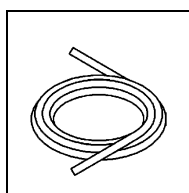
▲ 警告

1. 切断作業時に切片部の落下防止など危険防止措置のための安全対策を行ったうえで切断作業を行ってください。
2. 油圧ユニットの取扱説明書をよくお読みのうえ、指示にしたがって安全にご使用ください。

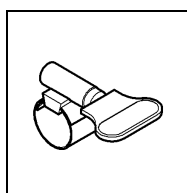
◎ この項目は、油圧ユニットE-2002A eco⁺を使用した時の操作方法を説明しています。

【1】油圧ユニット E-2002A eco⁺の準備

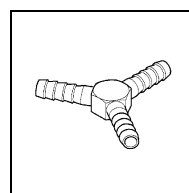
準備するもの



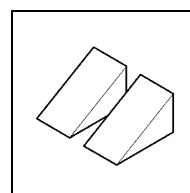
給水ホース
…必要数



ホースバンド
…必要数



三方継手
…必要数



車輪止め
…最低2ヶ

1. 電源接続

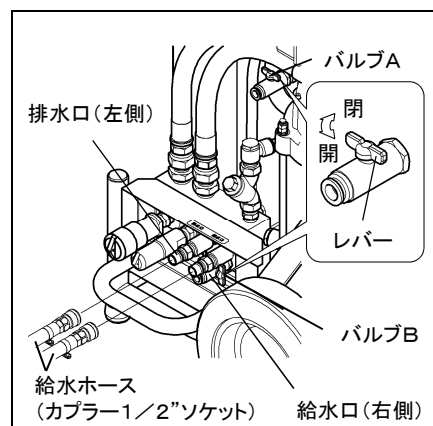
◎ 油圧ユニット E-2002A eco⁺を電源に接続してください。

▲ 警告

1. 感電に注意してください。漏電遮断器の設置してある電源を使用してください。
2. 電源コードを電源に接続する時は、発電機のエンジン・分電盤のブレーカは必ず切った状態で接続し、必ずアース線(緑色線)も接続してください。

2. 給水ホース・油圧ホース組の接続

- 1) 水道からの給水ホースを油圧ユニットの給水口のカプラー(オス)に接続してください。

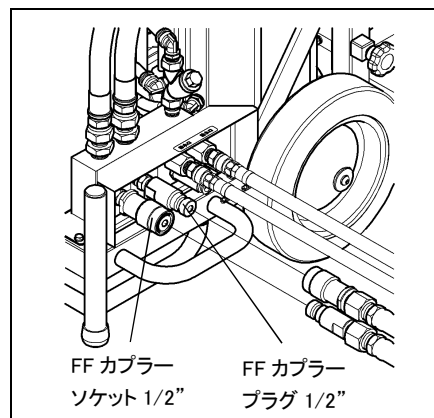


2) 給水ホースを排水口のカプラー(オス)に接続し、排水してください。

⚠ 注意

1. 給水量は10L/min以上とし、油温を20~60℃の範囲に調整してください。
2. 給水は、必ず清水を使用してください。
3. 水抜きバルブAおよびBのレバーが「閉」になっている事を確認してください。
(「開」になっていると給水をした時にバルブから水が流れ出ます。)
4. 油圧ユニットの排水をウォールカッター用の給水に流用する時は、三方継手を用いて分岐させ、ウォールカッターへの給水が過剰にならないようにしてください。

3) 油圧ユニットのFFカプラーに、油圧ホース組を接続してください。



⚠ 警告

油圧ホース組の接続は、必ず油圧ユニットが停止した状態で行ってください。油圧ユニットが起動中の場合、圧力がかかっているためFFカプラーの接続ができません。また、FFカプラーを無理やり押し込むと油が漏れる恐れがあります。

⚠ 注意

1. FFカプラーは、カチッというところまで押し込んで接続してください。
2. FFカプラーにゴミ・泥などが付着している時は、きれいな布などで拭きとってから接続してください。
3. 延長用にオプションの油圧ホース組を使用する場合は、ホース内に作動油が入っていないため、タンク内の油量が減少します。このため、油圧機器を接続しないで、油圧ユニットと新しい延長ホースの吐出・戻りをループ状(環状)に接続し、リモートコントロールでインテング(寸動)を行い油面計で確認しながら給油してください。延長ホースは必ず1本ずつ接続し給油を行ってください。2本同時に接続しますと油量の急激な減少により故障の原因になります。(油圧ホース1本当たり、約4Lの給油が必要です。)

ポイント

当社のBSカプラー(ブリヂストン社製)仕様の油圧機器を使用する場合は、オプション品の「変換アダプタ」が必要です。

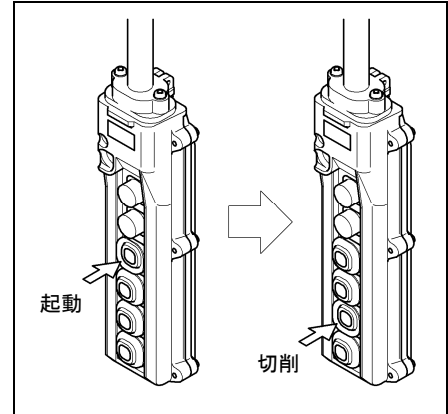
3. 吐出圧力(最大負荷圧力)の設定

- ◎ 油圧ユニットに油圧ホース組を接続しない状態で行ってください。
- ◎ 工場出荷時の圧力設定は、21MPaです。

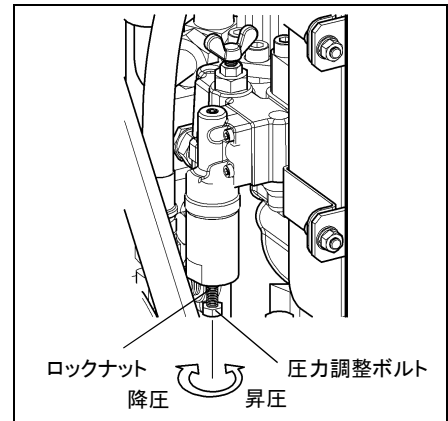
ポイント

油圧ホースを接続した状態では、油圧ユニットの油圧計に設定圧力が表示されません。

- 1) 油圧作動油の暖気運転を行ってください。温度計付油面計で油温を確認して、油温が20～60℃になりましたら、油圧作動油の暖機運転の完了です。
- 2) リモートコントロールスイッチの『起動』ボタンを押し、油圧ユニットを始動させてください。
- 3) 油圧ユニットの始動後約6秒待ってから、リモートコントロールスイッチの『切削』ボタンを押してください。



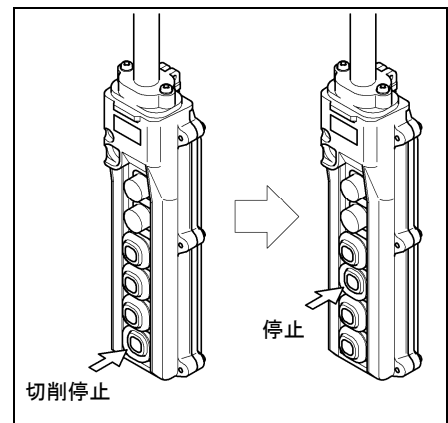
- 4) 片ロスパナ(13mm)でロックナットをゆるめ圧力調整ボルトをまわしてください。
- 5) 圧力を上げる場合は、圧力調整ボルトを締込む方向にまわし、圧力を下げる場合は、ゆるめる方向にまわしてください。
- 6) 油圧計を見ながら必要な圧力に設定し、片ロスパナ(13mm)でロックナットを締めて固定してください。



⚠ 注意

圧力の設定は、銘板に表示されている定格圧力を超えないようにしてください。定格圧力以上で使用すると、油圧モータの故障の原因になります。

- 7) リモートコントロールスイッチの『切削停止』ボタンを押してください。
- 8) リモートコントロールスイッチの『停止』ボタンを押し、油圧ユニットを停止させてください。

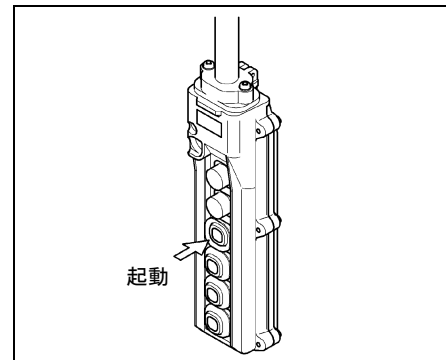


4. 吐出量(ブレードの回転速度)の設定

- ◎ 油圧ユニットは、可変容量ピストンポンプを使用しています。吐出量を変えることで、油圧モータの回転速度(ブレードの周速度)を任意に設定できます。下表の「吐出量の目安」を参考に設定してください。
- ◎ 工場出荷時の吐出量は、41.7/50.2 L/min(50Hz/60Hz)で設定しています。

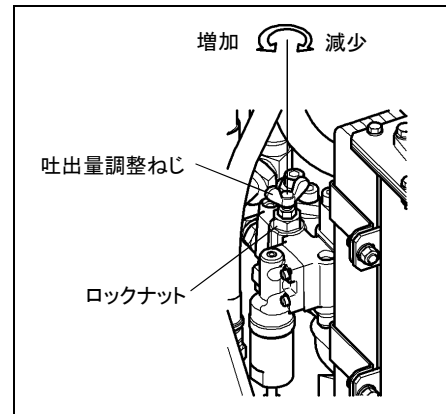
▲ 警告
<p>1. 吐出量の変更は、必ず油圧ユニットを始動させた状態で行ってください。</p> <p>2. 油圧ユニットに接続する油圧機器の取扱説明書をよく読み、油圧機器の最大流量以内で吐出量を調整してください。最大流量以上で使用しますと故障の原因となります。</p>

- 1) リモートコントロールスイッチの『起動』ボタンを押し、油圧ユニットを始動させてください。



- 2) 片ロスパナ(13mm)でロックナットをゆるめ、吐出量調整ねじをまわして吐出量を設定してください。

- ① 吐出量が最大となる位置(締込み回数0)は、吐出量調整ねじを回転抵抗が軽くなるまでゆるめ、そこから締込み回転抵抗が重くなった位置です。
- ② 本書18ページの「油圧ユニットの吐出量設定表」を参照に任意の吐出量に設定してください。吐出量を減少させる場合は、吐出量調整ねじを締込む方向にまわし、吐出量を増加させる場合は、ゆるめる方向にまわしてください。



吐出量設定の目安

締込み回数		0	1	2	3	4	5	最大
吐出量 [L/min]	50Hz	47.9	43.8	39.7	35.5	31.4	27.3	23.5
	60Hz	57.6	52.7	47.7	42.8	37.8	32.9	28.3

- ◎ 吐出量は、吐出量調整ねじ1回転で50Hz:約4L、60Hz:約5L増減します。

▲ 注意
<p>1. 油圧ユニットに接続する油圧機器の取扱説明書をよく読み、油圧機器の最大流量以内で吐出量を調整してください。</p> <p>2. 電源周波数60Hzで油圧モータ2060-12Aを使用する場合、油圧ユニットの吐出量調整ねじを3/4以上締め込んでください。締め込みが不足している場合は、吐出量が油圧モータの最大流量(54L/min)を上回り、油圧モータの故障の原因となります。</p>

ポイント

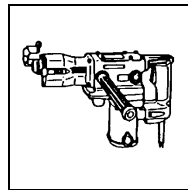
ブレードの適正周速度は、一般的には1200~1500m/minと言われますが、被切断物や現場の状況によって異なります。状況に応じて回転速度の設定を変えてください。

- 3) 設定後は必ずロックナットを締めて固定してください。
- 4) リモートコントロールスイッチの『停止』ボタンを押し、油圧ユニットを停止させてください。

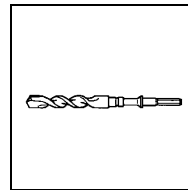
【2】トラックレール取付け用のアンカー施工

◎ 使用するハンマードリルの取扱説明書にしたがって作業してください。

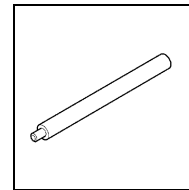
準備するもの



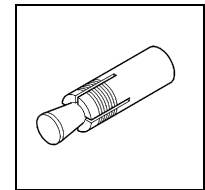
ハンマードリル
…1ヶ



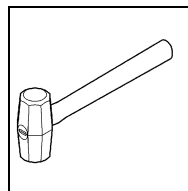
キリφ14.5
…1ヶ



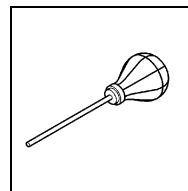
打込みホルダー
W3/8
…1ヶ



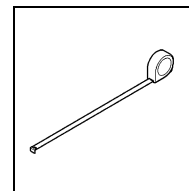
カットアンカー
W3/8
…必要数



ハンマー
…1ヶ

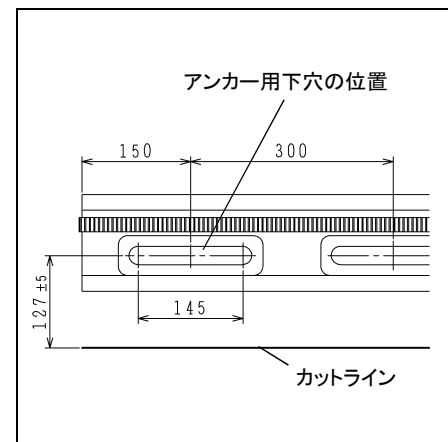


チリ吹き
…1ヶ



スケール
…1ヶ

- 1) スケールにて、カットラインから127±5mmの位置にアンカー用下穴の位置を墨付けし(右図参照)、ハンマードリルで下穴(キリサイズ:14.5mm 穴あけ深さ:55mm)をあけてください。
- 2) チリ吹きで穴の中の切り粉を排除してください。
- 3) カットアンカー(W3/8)を穴の中に挿入してください。
- 4) 打込みホルダーとハンマーを使用して、カットアンカー(W3/8)をしっかりと打込んでください。

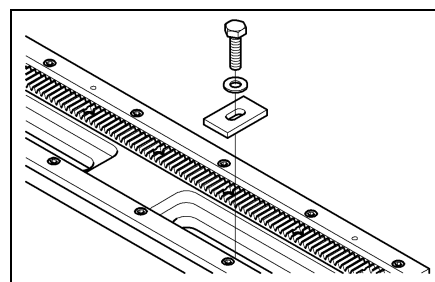


▲ 警告

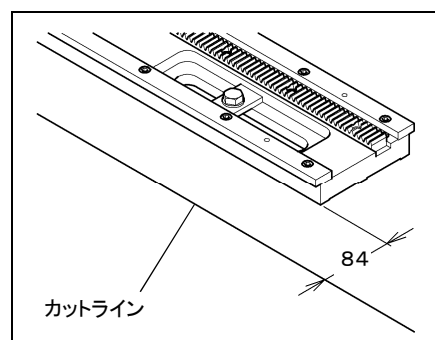
1. 安全のため、トラックレール 1200LA 1本につき、4ヶ所のカットアンカー固定を行ってください。600LAでは2ヶ所、1800LAでは6ヶ所となります。
2. 下穴の中の切り粉は、完全に排除してください。切り粉が残っていると、カットアンカーが抜けやすくなり大変危険です。
3. カットアンカーはしっかりと打ち込んでください。打込み不足は、カットアンカーが抜けやすくなり大変危険です。
4. 当社指定のカットアンカーを使用してください。

【3】ウォールカッターの取付け

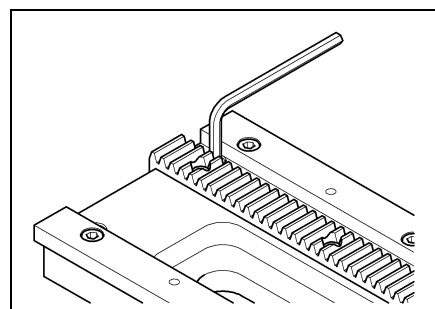
- 1) トラックレールを、角座金(W3/8×50×30×t6)と平座金(W3/8)と六角ボルト(W3/8×38mmまたはW3/8×50mm)で固定してください。



- 2) トラックレールの側面にスケールを当て、カットライン内側までが84mmになるように、位置調整してください。



- 3) 六角棒レンチ(5mm)でレベル調整をし、トラックレールをしっかりと固定してください。



- 4) ウォールカッターのアイナットを引いて旋回レバーを開方向(外向き)にまわしてください。

- 5) ウォールカッターを持ち上げ、トラックレールの任意の位置に置いた後、トラックレールのプレートに、ウォールカッターのローラをはめ込んでください。

- 6) ウォールカッターのアイナットを引いて旋回レバーを閉方向(内向き)にまわしてください。



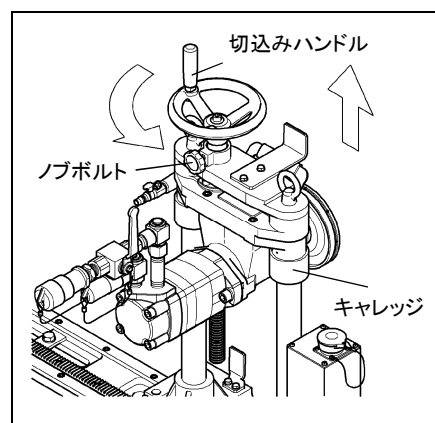
- 7) 4個のローラとトラックレールのプレートがかみあい、アイナットの先のピンが旋回レバーにはまり込んだことを確認してください。

▲ 警告

1. 壁面取付けの場合は、2人以上で行ってください。1人で取付けを行うと、ウォールカッターが落下し、けがをする恐れがあります。
2. 旋回レバーは閉方向に正しく固定してください。正しく固定されていないと、ローラがプレートから外れ、ウォールカッターが転倒または、落下する恐れがあり大変危険です。

【4】ブレードの取付け

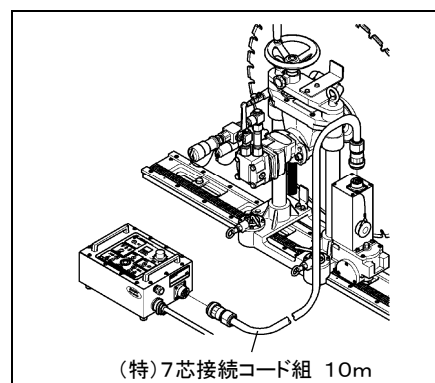
- 1) 切込みハンドルを反時計回りにまわし、キャレッジを最上限位置にして、ノブボルトを締めて固定してください。
- 2) ブレードを取付けてください。詳しくは、本書35ページ「ブレードの取付け・取りはずし」を参照してください。



【5】自動送り装置 BE-32A Proの接続

- 1) ウォールカッターと自動送り装置BE-32A Proを、(特)7芯接続コード組 10mで接続してください。

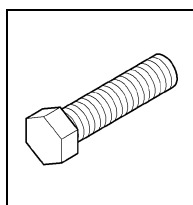
⚠ 注意
1. レセプタクルがぬれている場合は、十分乾燥させてから接続してください。
2. レセプタクルと、その周辺に付着しているゴミ等は、きれいに拭き取ってから接続してください。



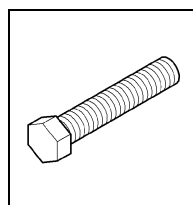
- 2) 自動送り装置BE-32A Proのプラグを電源に接続してください。
 - 油圧ユニットE-1124Aまたは、E-1524Aを使用の場合は、油圧ユニットのコンセントに接続ができます。
 - それ以外の油圧ユニットを使用の場合は、専用のハードトランスを使用するか、オプション品の変換アダプタを使用し、油圧ユニットのコンセントに接続してください。

【6】トラックレールの連結

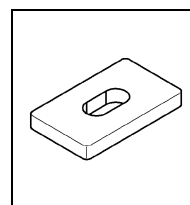
準備するもの



六角ボルト
W3/8×38mm
…必要数



六角ボルト
W3/8×50mm
…必要数



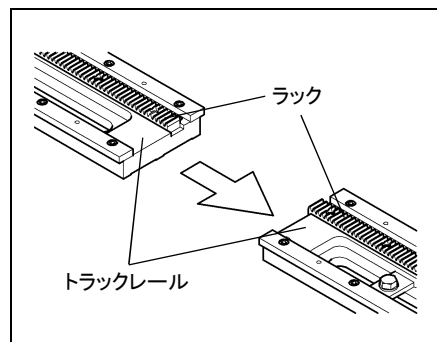
角座金
W3/8×50×30×t6
…必要数

- 1) 本書24ページ「【2】トラックレール取付け用のアンカー施工」と同様に、アンカーを打込んでください。

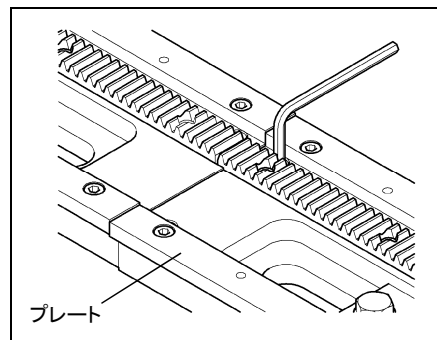
- 2) ラックを隣のトラックレールにはめ込んで、トラックレールの端面どうしを密着させて、角座金・平座金・六角ボルトで固定してください。

⚠ 注意

壁面取付けの場合は、トラックレールが落下しないよう注意してください。



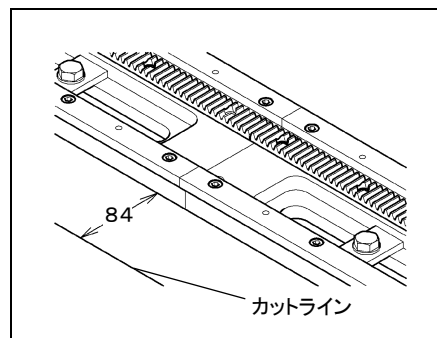
- 3) プレートの合わせ面に段差がある場合や、トラックレールの端面どうしが密着していない場合は、六角棒レンチ(5mm)でレベル調整してください。



- 4) トラックレールの側面にスケールを当て、カットライン内側までが84mmになるように、位置調整してください。

⚠ 注意

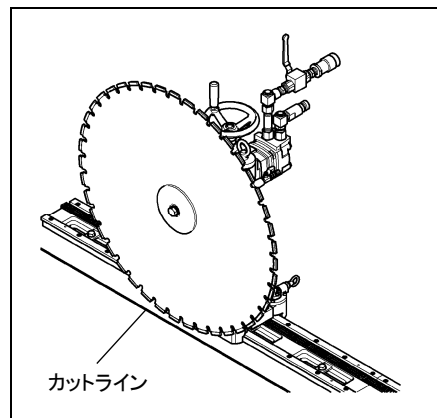
トラックレールをハンマーなどの硬いもので、直接たたかないでください。



- 5) ウォールカッターを試験走行させ、ブレードがカットラインの位置に合うようにトラックレールを微調整してください。詳しくは、本書29ページ【10】切断作業を参照してください。

⚠ 警告

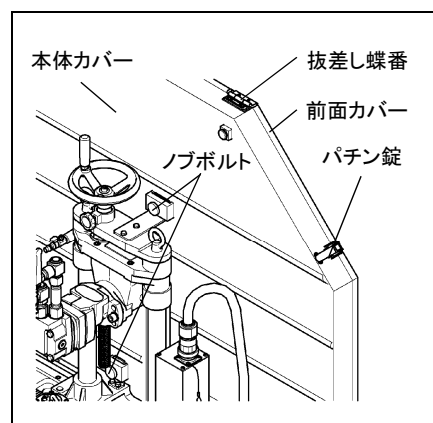
ブレードは回転させないでください。



- 6) トラックレールの六角ボルトをラチェットレンチでしっかりと締めて、固定してください。

【7】 ブレードカバーの取付け

- 1) 本体カバーと前面カバーを合わせて、抜差し蝶番・パチン錠にて固定してください。
- 2) 本体カバーをウォールカッターに取付けて、ノブボルトで固定してください。



- 3) 必要に応じて排水口の位置を移動させ、排水用ホースの片側を排水口に接続し、ホースの反対側をバケツ等で受けます。

【8】 給水の準備

- ◎ 給水コックを閉じ、給水用カプラーまたは給水用ホースを接続してください。給水用ホースの場合は、ホースバンドで締付けてください。
- ◎ 給水コックに取付け可能なホースの内径は15mmです。

⚠ 注意

油圧ユニットの排水をウォールカッター用の給水に流用する場合は、ウォールカッターへの給水量を調整できるように三方継手などで余剰分を排水できるようにしてください。

ポイント

給水コックにはハイカプラソケット20MS(日東工器)やジョブラWナットタイプTN-6.5WR(ジョブラックス)等のハイカプラ仕様のソケットが取付け可能です。

【9】 飛散水の処理対策

1. 現場に応じた飛散水の処理対策

- ◎ 切削水が飛び散りますので、シートを張るなどの対策を行ってください。

⚠ 注意

貫通側の飛散水の処理対策も行ってください。

2. フィード部への飛散水の処理対策

- ◎ 給水をしながらかブレードを回転させ、フィード部に水が飛び散る場合は、ブレードを停止してから、飛散水の処理対策を行ってください。対策できない場合は、作業を中止してください。

⚠ 注意

1. フィード部内のフィードモータや内部配線に水が入りますと故障の原因となります。
2. 壁面の垂直切断(上下方向切断)で、フィード部が下側にある時は、特に注意してください。

【10】切断作業

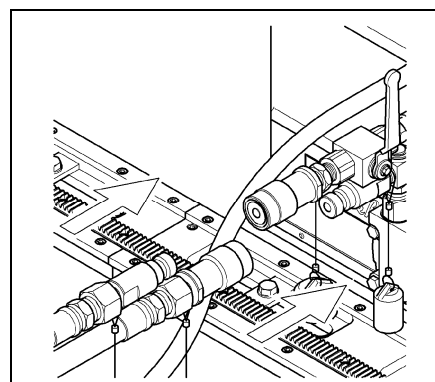
▲ 警告

切断作業中、ウォールカッターなどに異常が発生した場合は、油圧ユニットのリモートコントロールスイッチの『停止』ボタンを押し、ブレードの回転を止め、作業を中止してください。

- 1) 油圧ホース組をウォールカッターに接続してください。

▲ 注意

1. FFカップラーは、カチッというところまで押込んで接続してください。
2. FFカップラーにゴミ・泥などが付着している時は、きれいな布などで拭き取ってから接続してください。



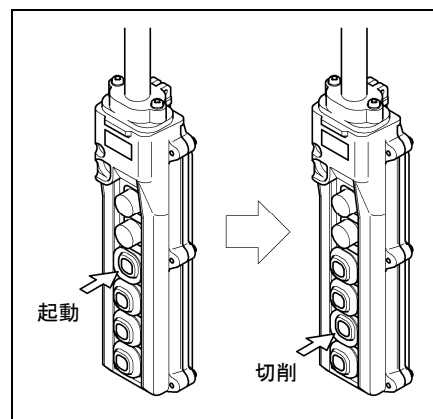
- 2) 水道の蛇口をあけ、給水コックを徐々に開き、給水量を調整してください。

▲ 注意

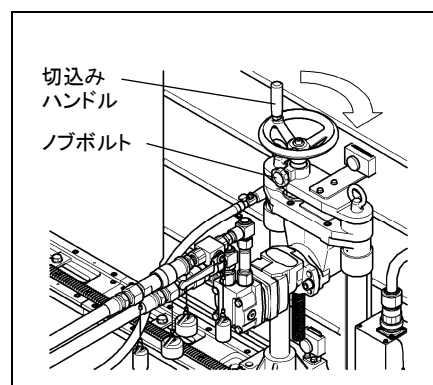
1分間に3リットル程度、給水してください。

- 3) 油圧ユニットが始動して6秒以上経過した後、リモートコントロールスイッチの『切削』ボタンを押し、ブレードを回転させてください。

- ボールバルブが閉じている場合は、ゆっくりと開いてブレードを回転させてください。



- 4) ノブボルトをゆるめ、切込みハンドルをゆっくりと時計回りにまわして切込んでください。(切込みハンドル1回転当たり、5mm移動します。)



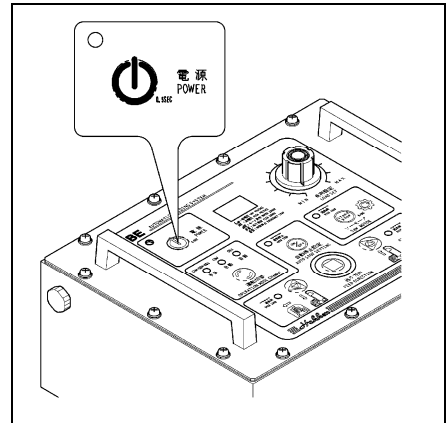
⚠ 注意

1. 切込み中は油圧ユニットの圧力計を確認しながら、切込み力を調整してください。切込み深さが30mm以下の時は、油圧ユニットの圧力が5～8MPaになるよう切込んでください。切込み深さが30mm以上の時は、油圧ユニットの圧力が10～15MPaになるよう切込んでください。
2. 一度の切込み深さは、100mm以下にしてください。一度の切込みが深くなるほど機械に掛かる負担も大きくなり、切断速度も遅くなります。
3. 無理な力で切込みをしないでください。ブレードが破損する恐れがあります。

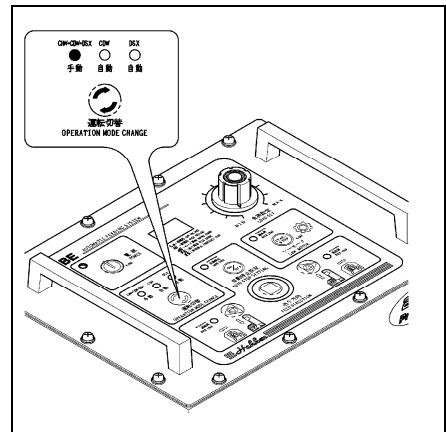
- 5) 自動送り装置 BE-32A Proの『**負荷設定ボリューム**』を「MIN」にして、『**電源ボタン**』を長押しして電源を「ON」にしてください。

⚠ 注意

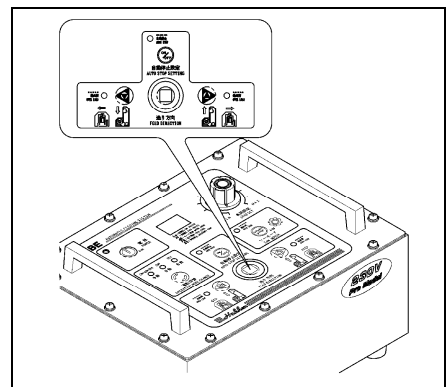
自動送り装置の「デジタル表示部」にエラー表示が出て操作ができない場合は、本書36ページ「作業中のトラブルと対策」の項を参照してください。



- 6) 自動送り装置 BE-32A Proの『**運転切替ボタン**』を押して、「CHW・CDW・DSX手動ランプ」を点灯させてください。



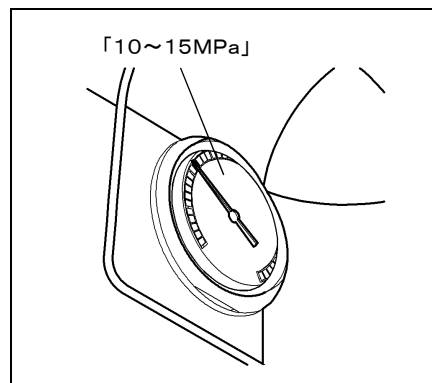
- 7) 自動送り装置 BE-32A Proの『**送り走行ボタン(順方向)**』または、『**送り走行ボタン(逆方向)**』を押してください。



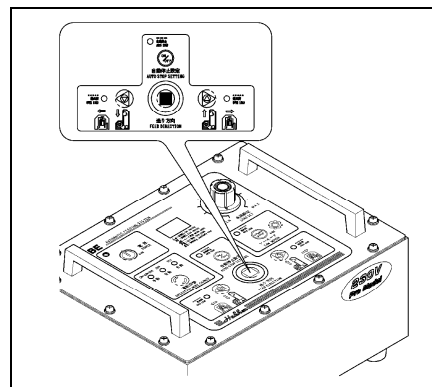
- 8) 『負荷設定ボリューム』をゆっくりとまわし、切断走行させてください。

⚠ 注意

被削物の状況や走行速度により、油圧ユニットの圧力が常に変化します。負荷設定ボリュームで走行速度を常時調整し、油圧ユニットの圧力を10～15MPaの範囲内に調整してください。



- 9) 所定の距離を切断しましたら、自動送り装置 BE-32A Proの『走行停止ボタン』を押して、走行を停止してください。



- 10) 以上の 4)～ 9) までの操作を繰り返し、所定の深さまで切断作業を続けてください。

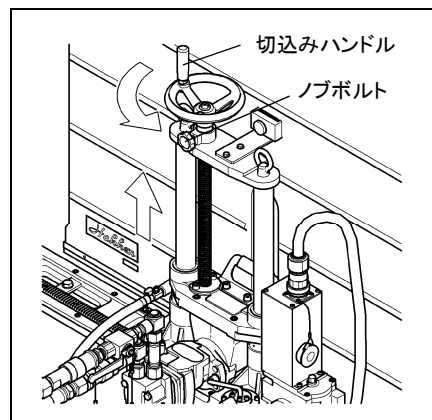
- 11) ステップ切り(ブレード40”以上)をする場合

⚠ 警告

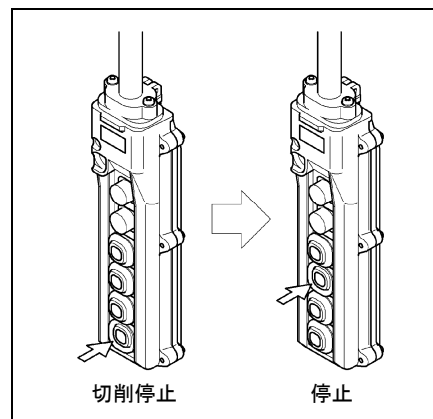
万一の事故を防止するために、油圧ユニットを完全に停止させてから行ってください。

- ① ブレードカバーとブレードを取りはずします。
- ② 切断している溝へ、ブレード(40”以上)を入れてください。
- ③ ブレードが溝に入ったままの状態、ブレードを取付けてください。詳しくは、本書35ページ「ブレードの取付け・取りはずし」を参照してください。
- ④ ブレード径に合ったブレードカバーを取付けてください。

- 12) 切断作業が完了したら、ノブボルトをゆるめ、切込みハンドルを反時計回りにまわして、ブレードが被削物から出るまで引上げてください。



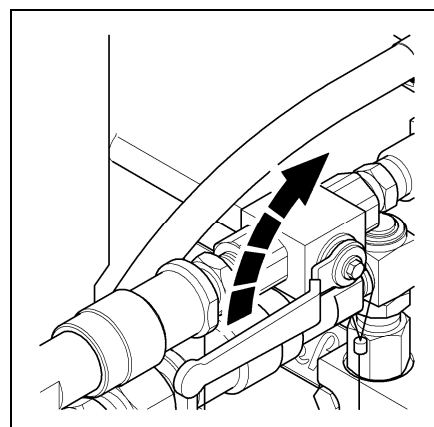
- 13) リモートコントロールスイッチの『停止』ボタンを押し、ウォールカッター、油圧ユニットを停止させてください。



- ボールバルブでブレードの回転を止める場合は、ボールバルブをゆっくりと閉じてください。

警告

ボールバルブを急に閉じないでください。油圧モータが急停止し、反動でブレードがはずれる恐れがあります。



- 14) 給水を止めてください。

【11】取りはずし作業

警告

万一の事故を防止するために、油圧ユニットを完全に停止させてから行ってください。

- 1) 油圧ホース組・給水ホースを取りはずしてください。

注意

油圧ホース組を取りはずす際は、FFカップラーおよび周辺に付着しているゴミなどを清掃してから取りはずして、カップラーキャップを取付けてください。

ポイント

1. 油圧ホース組を取りはずす際にFFカップラーにゴミなどが付着していると、FFカップラーの接合部（へこみ部分）が戻りにくくなることがあります。この状態では、油圧作動油タンクから油圧作動油があふれる可能性がありますので、ゴミなどはきちんと清掃してください。万一のため、油圧ホース組を油圧ユニット側から取りはずすと、より安全です。
2. 給水が停止したことを確認した後、給水ホースを取りはずしてください。

- 2) ブレードカバーのノブボルトをゆるめ、ブレードカバーを取りはずしてください。

注意

ブレードカバー内に残った切削水やヘッドロがあふれ出ないように注意してください。

- 3) ブレードを取りはずしてください。詳しくは、本書35ページ「ブレードの取付け・取りはずし」を参照してください。
- 4) 自動送り装置BE-32A Proの電源プラグを電源から抜いてください。
- 5) ウォールカッターから、(特)7芯接続コード組 10mを取りはずしてください。

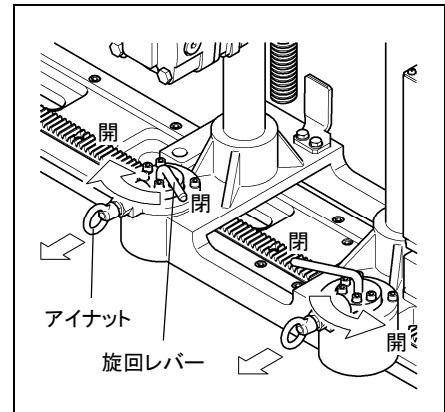
▲ 警告

1. レセプタクルおよび周辺に付着している水分は、きれいに拭き取ってから取りはずしてください。
2. 取りはずす時は、コードを引張って抜かないでください。
3. ウォールカッターのレセプタクルにはキャップを取付けてください。

- 6) ウォールカッターのアイナットを引いて旋回レバーを開方向にまわしてください。
- 7) ウォールカッターを持ち上げ、トラックレールから取りはずしてください。

▲ 警告

壁面取付けの場合は、2人以上で行ってください。
1人で取りはずしを行うと、ウォールカッターが落下し、けがををする恐れがあります。



- 8) トラックレールを取りはずしてください。

▲ 注意

壁面取付けの場合は、トラックレールが落下しないよう注意してください。

- 9) 切断部を清掃して完了です。

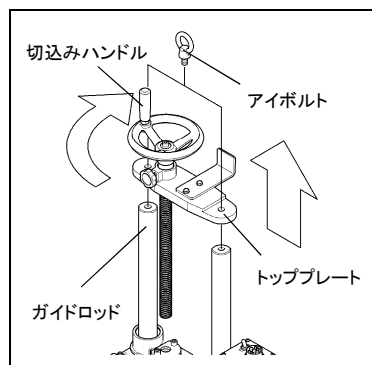
10. ウォールカッターの分離・組付け方法

▲ 警告

万一の事故を防止するために、油圧ユニットを完全に停止させてから行ってください。

【1】ウォールカッターの分離方法

- 1) ラatchetレンチなどの工具を、アイボルトに引掛けてまわし、アイボルトをはずしてください。
- 2) 切込みハンドルを時計回りにまわし、キャレッジを最下限位置まで動かしてください。
- 3) さらに切込みハンドルを時計回りにまわし、切込みハンドル・トッププレートを取りはずしてください。
- 4) キャレッジをガイドロッドから抜き取ってください。



▲ 警告

ウォールカッターを分離する場合は、ベースを固定した状態で行ってください。ベースが固定されていないと、キャレッジを抜き取る際にけがをする恐れがあります。

⚠ 注意

ウォールカッターが分離された状態で、運搬は行わないで下さい。各 부품の曲り、ゴミの付着等により、故障する恐れがあります。

【2】ウォールカッターの組付け方法

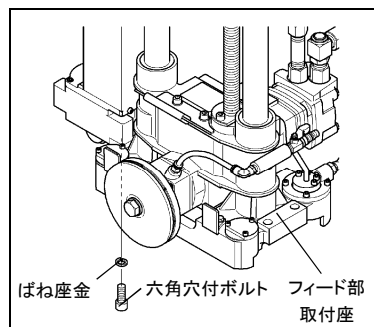
◎ ウォールカッターの組付けは、上記分離と逆の手順で行ってください。

ポイント

1. キャレッジのガイドロッド差込み口内に、グリスがあることを確認して、少なければ組付けた状態で、グリスニップルから補充してください。
2. スライド部分へのゴミ等の付着を防止するため、ウォールカッターが分離された状態で長時間放置しないでください。

11. フィード部の位置変更方法

- 1) 六角棒レンチ(10mm)で、フィード部を固定している六角穴付ボルトM12×40をはずしてください。
- 2) フィード部をはずし、反対側のフィード部取付座に移動してください。
- 3) 六角棒レンチ(10mm)で、六角穴付ボルトM12×40を締付けてください。



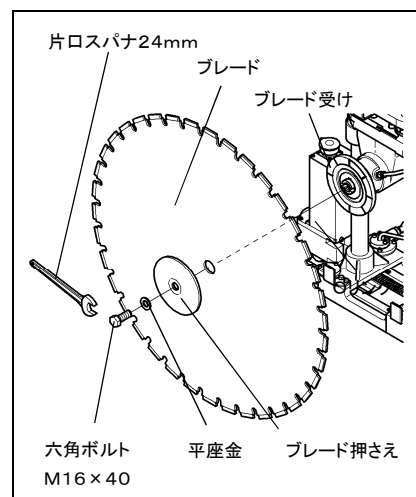
12. ブレードの取付け・取りはずし

⚠ 警告

万一の事故を防止するため、油圧ユニットを完全に停止させてから行ってください。

【1】ブレードの取付け

- 1) 片ロスパナ(24mm)で、六角ボルト・平座金・ブレード押さえをはずしてください。
- 2) ブレードを取付けてください。
- 3) ブレード押さえ・平座金・六角ボルトを取付け、片ロスパナ(24mm)で、六角ボルトをしっかり締付けてください。



⚠ 注意

1. ブレードの取付けの際は、六角ボルトをしっかり締付けてください。締付け不足の場合は、ブレードがスリップするため、ブレード押さえが摩耗し、切断の直進性が低下します。
2. ブレードの取付け、取りはずしの時は、ボールバルブを開き、油圧ホース組をつないだ状態で行ってください。油圧回路を遮断した状態でブレード受けまたは、ブレードをまわすと、油圧モータの故障の原因となります。

【2】ブレードの取りはずし

- ◎ ブレードの取りはずしは、上記取付けと逆の手順で行ってください。

13. 作業中のトラブルと対策

【1】作業中のトラブルと対策方法

◎ 作業中に異常を感じたら、ただちに作業を中止して安全な状態で、下表にて原因の調査を行ってください。

トラブル	原因	対策方法
自動送り装置BE-3 2A Proの「デジタル表示部」に「HI」のエラー表示が出る	電源電圧が高すぎる 260V以上	正常な電源に接続しなおし、『電源ボタン』を押す
自動送り装置BE-3 2A Proの「デジタル表示部」に「Lo」のエラー表示が出る	電源電圧が低すぎる 170V以下	正常な電源に接続しなおし、『電源ボタン』を押す。一時的な電圧降下の場合は、電源電圧が正常に戻った後、『電源ボタン』を押して復帰(リセット)する
自動送り装置BE-3 2A Proの「送り走行ランプ」が点滅する	フィードモータに過負荷が掛かり、過負荷保護機能が働いている	『走行停止ボタン』を押して点滅を解除し、過負荷の原因を取除く
ウォールカッターが停止した	ウォールカッターおよびブレードカバーが障害物に接触している	障害物を取除く
	トラックレールの固定に寸切ボルトなどを使用して、ボルトがベースにあたるなど走行障害になっている	ボルトを交換するか、寸切ボルトを締めなおしベースにあたらないようにする
	ローラまたはラックにゴミが付着している	清掃または修理
	ラックが破損している	修理
	トラックレールのスライド面が変形している	修理
自動送り装置BE-3 2A Proの『送り走行ボタン』を押してもウォールカッターが走行しない	フィードギヤボックスが破損している	修理
	フィードモータの故障	修理
	(特)7芯接続コード組 10mの断線	修理
ブレードが回転しない	油圧ユニットのトラブル	油圧ユニットの取扱説明書を参照
	油圧ホース組の接続不良	カプラーの接続をやり直す
切込みハンドルがまわらない	ノブボルトが締まっている	ノブボルトをゆるめる
	フィードスクリュウにゴミなどが付着している	フィードスクリュウを掃除し、グリースを塗布する
切断速度が遅い	鉄筋を切断している	無理に力をかけずに切断する
	ブレードのチップが摩耗している	新品交換
	ブレードが切れない	コンセック各営業所に相談
	油圧ユニットの油温が高い	油圧ユニットの取扱説明書「作業中のトラブルと対策」を参照
	油圧モータに力がない	油圧ユニットの取扱説明書「作業中のトラブルと対策」を参照
振動が大きい	トラックレールの取付け不良	取付けをやりなおす
	ブレードが変形している	修理
	メインシャフトが曲がり、芯ぶれしている	修理
ブレードがロックした	鉄片および混入された石などが、ブレードと切断面の間にはさまっている	本書37ページ「ブレードがロックした場合の解決方法例」を参照
	チップ側面が摩耗して、基板と同じ厚さになっている	新品交換

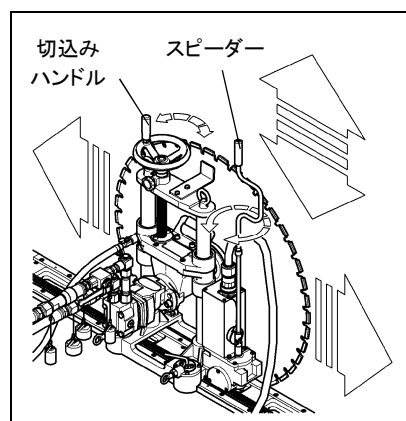
【2】ブレードがロックした場合の解決方法例

⚠ 警告

万一の事故を防止するために、油圧ユニットを完全に停止させてから行ってください。

- 1) 自動送り装置BE-32A Proの『走行停止ボタン』を押して走行を停止し、『電源ボタン』を押し、「電源ランプ」を消灯させてください。
- 2) 油圧ユニットのリモートコントロールスイッチの『停止』ボタンを押し、ウォールカッター・油圧ユニットを停止させてください。
- 3) ブレードカバーを取りはずしてください。
- 4) 下記の①～③を行い、ブレードを引上げられる位置を探ってください。

- ① 切込みハンドルをまわしてブレードを上下させる。
- ② スピーダ等でフィードギヤボックスの六角頭付シャフトをまわして、ウォールカッターを送り方向に前後させる。
- ③ ブレード受けの二面幅にスパナ(46mm)をかけ、ブレードが動きやすい方向にまわす。



⚠ 注意

1. 送り方向への前後移動や、ブレードの上下方向移動には無理な力をかけないでください。ブレードのチップが脱落する恐れがあります。
2. ブレード受けをまわす時は、ボールバルブを開き、油圧ホース組をつないだ状態でまわしてください。油圧回路を遮断した状態でブレード受けまたはブレードをまわすと、油圧モータの故障の原因となります。

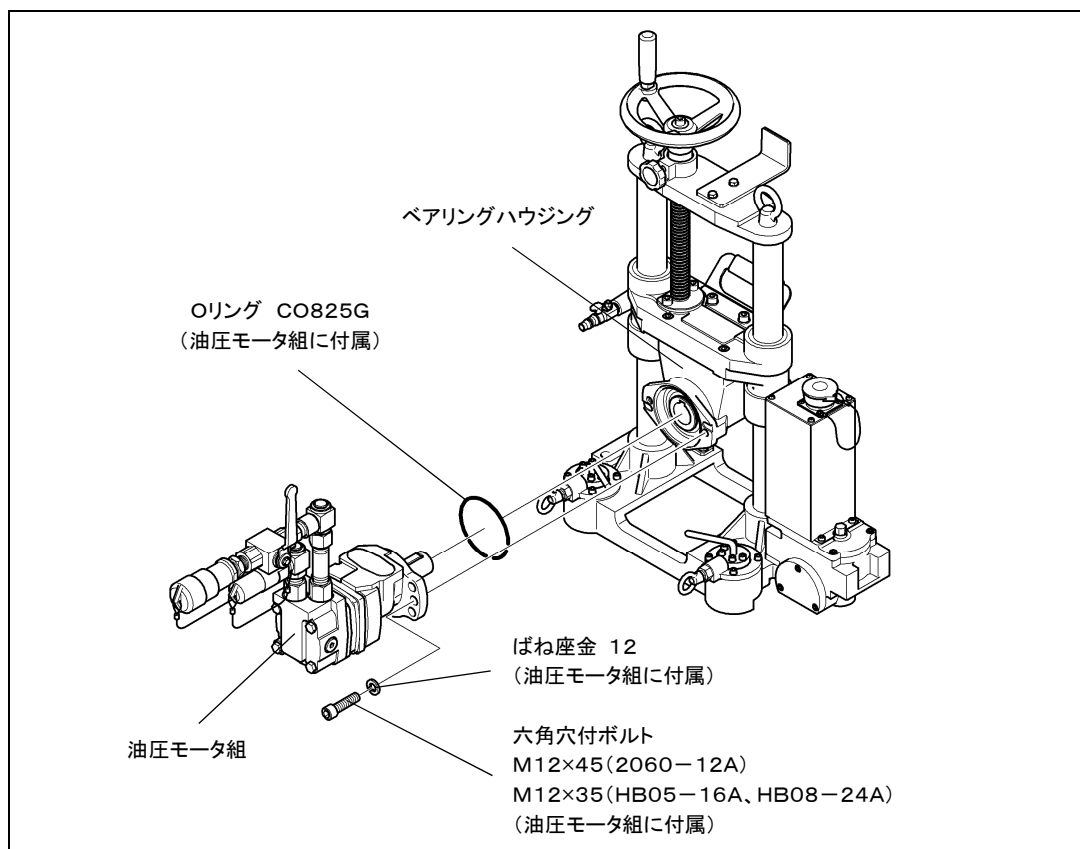
- 4) 切込みハンドルをまわして、ブレードを切断溝から引き上げてください。
- 5) 切断溝から、ロックの原因(鉄片、石など)をできるだけ取除いてください。

14. 油圧モータ組の取付け

⚠ 注意

ベアリングハウジングと油圧モータ組の合わせ面に隙間ができたり、傾いたりしないように注意してください。

- 六角穴付ボルト(2個)・ばね座金12(2個)・Oリングで、油圧モータ組とベアリングハウジングを六角棒レンチ10mmで締付け、固定してください。



15. 点検・保守・修理

【1】作業前点検

- ◎ ウォールカッター・ブレードカバー・トラックレール・ブレードに、亀裂・破損はないか、ウォールカッターとトラックレールのスライドにガタ付きはないか、油圧モータ・ボールバルブ・FFカバーに油漏れがないかを点検してください。また、コード被覆部に亀裂・損傷はないか点検してください。また、異常があった場合は、最寄りの販売店または、コンセック各営業所にお問い合わせください。

【2】定期点検

- ◎ 各部取付ねじのゆるみなどを定期的に点検し、ゆるんでいる所は締めなおしてください。

⚠ 注意

ゆるんだまま使用すると、事故などの原因となり大変危険です。

【3】保守

◎ 作業後には、清掃および保守を行ってください。

⚠ 注意

1. 清掃作業の時は、必ずフィード部のレセプタクルにキャップを取付けてください。
2. フィード部には水をかけないでください。故障の原因となります。

- 1) ウォールカッターの外枠は、アルミや鉄などを使用しています。外枠の清掃の時は、乾いた布で拭いてください。
- 2) FFカブラーには、水をかけないようにし、きれいなウエスなどで拭いてください。
- 3) ガイドロッドは、特にきれいにしておいてください。
- 4) ローラは、きれいにしておいてください。
- 5) フィードスクリューには、グリースを塗布しておいてください。
- 6) トラックレールのレベルボルトには、注油をしておいてください。
- 7) ブレードカバーは、前面カバーをはずして清掃してください。また、排水口のつまりを除去しておいてください。

【4】修理について

- ◎ 本製品は、厳密な精度で製造されています。したがって、もし正常に作動しなくなった場合には、決してご自分で修理をしないで、最寄りの販売店または、コンセック各営業所にお問い合わせください。
- ◎ その他、取扱い上でご不明な点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

16. 製品の保管

製品や付属品の保管

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- ◇お子様の手がとどいたり、簡単に持ち出せる場所
- ◇鍵のかからない場所
- ◇軒先など雨がかったり、湿気のある場所
- ◇温度が急変する場所
- ◇直射日光のあたる場所
- ◇引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には保管しないでください。

本取扱説明書に記載されている製品の外觀などの一部を予告なく変更している場合があります。

本製品に関するお問い合わせは、下記アドレスにアクセスしていただき、
最寄りの支店および営業所へ直接ご連絡ください。

<http://www.consec.co.jp/works/hakken.html>

右の QR コードをバーコードリーダー機能付きの携帯電話より読み取ることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。



株式会社コンセック

〒 733-0833 広島市西区商工センター4-6-8

型式名	CHW-50A	検印
製造番号		

E0892-0